大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　七月六日

本紙定價 一ヶ月壹圓五拾錢　廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話(編輯局專用)(3)二二二五 (營業局專用)(3)二三〇〇
發行人 十河榮惠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

哀れ黑人帝國の末路
聯盟はエ國を見殺す
壓倒的多數で決議案を承認
國際聯盟の無力を暴露

【ジユネーヴ四日發國通】聯盟總會は四日午後零時十分開會、ヴアン・ゼーランド議長は幹部會決議草案を朗讀し各國代表の

支持 を要請したが俄然エチオピア代表ラス・ナシブ氏は決議草案に全面的反對を表して讓らず議事紛糾し已むなく一旦討議を打切つた、午後六時卅分續開、決議案の討議に入つた劈頭ラス・ナシブ氏は長文の聲明を朗讀、最にエチオピア代表より總會に提示した決議案の審議を要求して敗慘國エチオピアの最後の悲壯なる哀訴を行つた、次で幹部會の決議案提案の結果、出席四十九ヶ國代表中エチオピア代表の反對投票南阿、チリー、パナマ、ベネヅエラ四ヶ國代表の棄權を除き四十四ヶ國代表の壓倒的多數を以て決議案を承認、こゝに哀れエチオピア帝國は完全にその縋りとする聯盟より見放されることゝなつた、決議案再採決後ゼーランド議長はエチオピア代表提出にかゝる左の二ヶの決議案を提出した

一、イタリー政政のエチオピア領土併合不承認決議案
一、聯盟に對しエチオピア政府のため一千萬ポンドの借款斡旋方を要求する決議案

第一決議案に對してはゼーランド議長は本問題は既に幹部會案に包含され決定濟であるから投票無用であると確信を披瀝、各國代表もこれに同意次に第二決議案に移りエチオピア代表の要請を容れて

點呼 により投票を行つた結果、エチオピア代表の贊成を除き反對廿三、棄權廿五を以て同案は破れた、之を以て總會議事は終了、第十六總會は完全に聯盟の無力を暴露、黑人帝國を完全に見殺にして午後八時散會した

尚各國代表間にも幹部會の決議草案に對しては不平尠なからず、一部代表の如き今回の決議案はムソリーニ首相に對する憐れむべき降服に外ならぬと嘆息してゐる

エチオピア皇帝
スイスから退去を要求さる
ロンドンへ御歸還か

【ジユネーヴ四日發國通】スイス外相モツタ氏は四日午前カールトン・ホテルに滯在するエチオピア皇帝ハイレ・セラシエ一世に對し聯盟總會終了と同時に速かに國外に退去されたいと要請し若し自發的に退去しなければ追放する旨通告した

皇帝は自ら總會に出席して祖國の爲に聲涙共に下る悲壯な熱辯の效ひもなく遂に聯盟に見放され今やスイス國內にすら滯在する事を許されず、皇帝の身上は一般に同情されて居る、皇帝はロンドンへ歸還されるものとみられて居る

聯盟決議草案

【ジユネーヴ四日發國通】伊エ紛爭淸算のための聯盟總會幹部會は四日午前九時卅分開會報告草案並に決議案を作り上げ總會にかけた、難點はイタリーのエチオピア合併不承認を如何なる辭句で表明するかにあつたが、眞正面からこれを闡明しないが、結局は不承認といふに歸する言句を用ひてゐる、決議草案の內容左の如し

一、總會は聯盟規約の原則を確守し且つ領土に關する紛爭を實力によつて解決する事を排擊した一九三二年八月三日モンテヴイデオ會議の決議を再確認す
一、エチオピア皇帝ハイレ・セラシエ一世が要請する一千萬ポンドの財政的援助を拒否す
一、聯盟各國政府に對し九月二日迄に規約の諸原則執行の手段改善案を檢討示唆する事を要請する
一、第十七回總會は九月廿一日開會、アヴノール事務總長は以上各國政府の示唆案を檢討し總會に報告する
一、制裁調整委員會に對し制裁撤回に關する提案を作成各國政府へ通達する事を要請する

聯盟の對伊屈服に エ國皇帝激怒
各國代表間にも不平滿々

【ジユネーヴ四日發國通】緊急聯盟總會が聯盟規約の諸原則を完全に放棄、イタリー政府の侵略行動に泣寢入りする如き決議草案を上程、審議するやエチオピア皇帝ハイレ・セラシエ一世は極度に激昂、四日午後次ぎの意向を表明した

聯盟總會がイタリー政府の侵略行動を默認し制裁の放棄を勸告するとは言語同斷である、然かもイタリー軍侵略の成果を承認せぬ旨明示しないと云ふに至つては斷じて默過出來ない、エチオピア帝國としては斯かる理不盡なる決議案を到底受諾する事は出來ず、總會席上最後迄抗爭を續けやう

七月廿六日を郵政記念日に
二十五日は殉職者追悼會

大同元年建國早々交通部に於ては郵政自主權の宣言を爲し從來國內に現存してゐた中華民國郵政の撤退工作に努力し滿洲國の躍進的發展と當局の絕大なる努力とに依り遂に大同元年七月廿六日中華民國郵政機關の撤退を見るに至り茲に完全に滿洲國郵政權に基く郵政事業を實施するに至つた以來關係方面の盡大なる援助と從事員の斷へざる努力及幾多の貴き犧牲とに依り各種制度及施設改善せられ今日の整備を見たのである、今般交通部では每年七月二十六日を郵政記念日と定め當日は殉職職員の英靈を慰むると共に郵政從事員心氣肅正、郵政事業の精神を昂揚して郵政事業の發展を期する爲め左の記念日式典及各種行事を行ふ筈である

一、郵政殉職職員追悼會 期日 七月二十五日
二、郵政記念日式典 期日 七月二十六日
式典
(一)國歌合唱
(二)訓民詔書の奉讀
(三)大臣訓示、地方に於ては管理局長又は郵局長)
(四)模範職員の表彰
三、郵政記念日放送 期日 七月二十六日
四、郵便現業競技會 期日 七月二十六日
五、郵政接收座談會 期日 七月二十七日
六、職員運動競技會 期日 八月八、九日

右の外各郵局に於て
一、郵政事業周知及サーヴイス週間 期間 七月十九日より一週間
二、郵政記念日スタンプ使用期間 七月二十六日より三日間
三、郵政無事故週間 期間 七月二十七日より一週間

小松兼松氏歸京

岡山市で開催された全國方面委員大會に新京福祉委員を代表して出席した小松兼松氏は大會終了後東京、大阪、九州各都市社會事業を視察し五日午後歸京した

外交國策の根幹成る

【東京國通】自主積極外交の實踐を期する外交國策の根幹は四日の外務省議に於て最後的決定を了したので有田外相は來る七日の國策閣議にこれを提出質疑を加へることになつた、而して有田外相は全面的には東亞政策の完全なる遂行と經濟外交の强化をその骨子としたもので有田外相の閣議に於る說明要旨は大要左の如きものと解される

一、東亞政策の確立と通商貿易より受ける收益は日本國民の生存死活に決定的要因を與へるものであり、外務當局は國防と相表裏する外交工作の運行により之が圓滑なる遂行を圖ると共に世界市場に日本商品不當待遇除去の方策を遂行せんとする
一、國際非常時局に對處して對ソ、對支外交陣營を擴大强化すると共に全世界領域に亘り對日啓蒙の外交工作陣を確立、併せて各國市場資源の自由開放を實現せしめ通商貿易の公道を確立せしめるは眞に帝國外交の存否の問題である事を確信し駐ソ、支大使館の擴充及び在外通商公館の强化の爲二千萬圓の新規要求を計上する
一、經濟的開發の不可分性を强調し我東亞政策の遂行が支那の經濟を開發し世界經濟の回復に決定的動因を與ふべき事實に就き外國の蒙を啓き日本經濟の世界的進出問題に就ては特に各國就中太平洋沿岸小國が廣く自由日本の爲その市場資源の門戶を開き、先づ太平洋繁榮時代の實現を以て世界更生の

礎石 と爲さんとする樣眞摯なる期待を率直に吐露し、各國代表の考慮を要求することになつて居る

植田軍司令官 在龍各警備機關を檢閱

【龍井村國通】植田軍司令官は五日午前九時五分自動車にて延吉より來龍、直ちに帽子山の統監所に入り在龍各警備機關の演習を統監、それより飛行場に赴き在龍警備機關を檢閱し正午列車にて歸任の途についた

信託協會長に 今村幸男氏當選

【東京國通】信託協會では四日午後臨時總會を開き理事二名の補缺選擧を行ひ、江藤三井、山室三菱の兩氏當選、次で理事會に於て正副會長互選の結果三代目會長には現副會長の今村幸男住友、副會長には戶澤芳樹安田の兩氏と決定した

閣議決定事項

六日國務院會議における決定事項は左の如くである
一、測量制限法施行前に於ける測量禁止區域內の測量又は撮影の成果品に對して制限をなす爲測量制限法中改正の件
二、監獄に勤務する看守に短刀を佩はしむる爲監獄官吏服制中改正の件

城大調査班 今夏來滿

夏期休暇を利用して內地の大學專門學校の研究團視察團は續々入滿しつゝあるが來る二十七日には京城帝大滿蒙文化研究會の昭和十一年度體質人類學調査班が今村敎授に引率されて來滿することゝなり之が便宜をあたへられたいと六日關東軍に依賴があつた

一行は敎授醫博今村豐、助敎授醫博國彥二三、講師醫博島五郎、助手醫學士牧野久吉、學生大西雅郎の諸氏で八月末日迄、齊々哈爾、訥河、嫩江、哈爾濱、興安嶺に赴き滿洲族、內蒙古族、達呼爾族等に關し體質人類學調査を行ふ筈である

北千島附近で ソ聯汽船坐礁
救助船の不開港入港を許可

【札幌國通】五日午後三時外務省から北海道外事課への入電によればソ聯汽船シユマ號(約四千噸)は二日北千島溫禰古丹島沖に坐礁し、汽罐部は大破し船體は危險に瀕して浸水甚だしく乘組員九百名の生命は氣遣はれて居る、この遭難船救助の爲ソ聯側ではオロチヨン號を現場に急派し四日現場到着の筈だつたが現場附近は濃霧深く五日午後九時に至るも遭難船に近づけず乘組員は絕望視されて居る、ソ聯側では更にウラジホから五日午後五時ブウーリ・レースニツク號を現場に向けて出發せしめたが現場附近は日本としては軍事上の重要地點である、右に關しては五日朝駐日ソ聯大使館一等書記官アスコフ氏から外務省に對し申出ありシユマ號乘組員救助の爲救助船の日本領海侵入並に不開港入港の正式認可の申出があつたが、外務省では所管局たる遞信局と打合せの結果領海內とはいへ人命救助の爲之を

許可 する事に申合せ外務省の歐亞局第一課長からアスコフ氏に對し左の如き回答を與へた
一、ソ聯救助船の不開港入港は餘儀なき事と認め六日賴母木遞相から之を許可する
一、但し右許可の發令前に救助船が人命救助の爲已むを得ず不開港入港の必要ある時も特に之を許可する

汎太平洋會議 代表陣決定

【東京國通】第六回汎太平洋會議は來る八月十五日より米國ヨセミテ公園に於て開催されることとなつたが、日本代表團の

構成 は芳澤元外相を團長に外交問題に就ては阪西中將、山川端夫博士、經濟問題に就ては高柳賢三、那須皓、上田貞次郎三博士、社會問題に就ては鶴見祐輔氏を夫々擔當者と決定した、本年度大會の議題は
一、太平洋諸國に於る經濟政策及び社會政策の目的及び其結果
であつて特に我國に關係の深い議題は
一、支那の經濟的開發と其國民生活
一、世界市場に於る日本の經濟的進出
の二案であり、支那問題に對する討議には芳澤團長を中心に阪西中將、山川博士等を動員し日支共存の實現と支那の

西南軍七機 中央軍に寢返へる

【上海六日發國通】去る二日西南軍々用機七臺が廣東の根據地を發して北部省境附近の偵察に向つたまゝ行衛不明となり其の後數日を經るも杳として消息なく西南軍事當局は八方手を盡して祕密裡に搜査の步を進めて居るが、當地確實なる筋への情報に依ると前記七臺の軍用機は何れも中央側の買收工作效を奏し江西省吉安飛行場に無事着陸機體諸共中央軍に寢返つた事明かとなつた

人事往來

▲田中中銀總裁 六日午前七時東京へ
▲植田關東軍司令官 同午後三時二十七分吉林より
▲草場大佐(鐵路局顧問)同來京
▲山下精三氏(滿洲鑛發會社)六日午前大連へ
▲近藤釜次郎氏(工業)同
▲辰村榮治氏(荏原製作所員)同來京國都ホテル
▲辰村米吉氏(土木建築請負業)同
▲並河末雄氏(商業)同
▲奧津三郎氏(滿洲鹽業設立準備員)同
▲西島正榮氏(電業公司)五日午後濱江へ
▲中野琥逸氏(吉林省總務廳長)同來京國都ホテル
▲黑田啓氏(實業)同
▲市川宗助氏(商工銀行專務)同
▲秋山炭六氏(滿鐵)同
▲林茂壽氏 同午前來京ヤマトホテル
▲大日方一司氏(旅順工大敎授)同
▲相馬龍雄氏(滿洲國官吏)同
▲庵谷沈氏(滿洲製糖主事)同午後同
▲藤原嘉藏氏(北鮮製紙專務)同
▲佐々木高信氏(官吏)同
▲辛島寬太氏(滿紡常務取締役)同
▲管野誠氏(撫順炭坑)同
▲沼田龍太郎氏(官吏)同
▲藤岡一氏(滿鐵)同
▲吉野淑計氏(高等法院推事)同市內へ

團體

▲保甲實訓見學旅行團四十五名 六日午前七時三十分公主嶺へ
▲オクデン・ヤング氏一行廿一名(音樂團)午後あじあで奉天よりハルビンへ

乳房ある悲み (百十七)

(禁上演上映)
中西伊之助
泉武久 畫

彼の爲に起つ(四)

「さあどうだつたかなあ……」
さ、一人がいつた。
「あの時はみんながパンを頰張りながら一生懸命で走つてゐたよ」
さ、他の一人がいつた。それがきくさ、傍聽人や、今日集まつて來てゐた都下の新聞記者連などがドッさ笑つた。
「俺はあの時鵜呑みにしたパンが咽喉へつまつて苦しくて走れなかつたんだ、それで一番先きに小僧に捕まつたんだ……」
それでまた笑ひ聲が起つた
「では路次へはいつて食つてゐたさ調書にはありますが、被告達は街上をかけながらそれを食つてゐた譯ですね?」
齊は裁判長にきいた。
「さうらしいですね……」
さ裁判長もいつて、
「被告達はそれでは其パンを街路をかけながら食つてゐたんだね」
さ被告等にきいた。
「それはさうしなければすぐ捕まります、愚圖愚圖しちやゐられません」
さ、前科で慣れてゐるらしい山中がいつた。
「ではこの位で宜しいでせうか」
裁判長は齊にきいた。
「もう少し明白にその點をして置きたいさ思ひます、只今の被告等の申立てに依りますさ、その窃取したパンは殆ど食ひつくしてゐたやうに察せられますが、裁判長の御意見は如何でせう、この點について私は店員の仙三郎を證人さしてお呼び出しを願ひたいさ思ひます」
齊は裁判長へいつた。
「さうですね、大體食ひつくしてゐたさ見て差支ないさ思ひます、それでよろしいですか?それさも證人申請をされますか?」
「裁判長、本辯護人も一應、店員の土田仙三郎をお呼び出しを願ひたいさ思ひます」
さ、山浦辯護士はいつた。
「さうですか、そしてその理由は高山特別辯護人さ同一ですね」
「大たい同一です、だが、被告等の豫審決定書に依りますさ、店員土田仙三郎は盜品を奪ひ返すために被告等を追跡したさ認めてありますが、最初仙三郎がその意志で追跡したさしても、被告等を發見した際、既に盜品が食つてしまつたことを知りながら、尙それを奪ひ返さうさして彼等さ爭つたか或は被告等が單に捕へようさして爭つたか、その點を十分確めて頂きたいさ思ひます」
裁判長はその證人申請について陪席判事や檢事さ合議したが、それは却下された。
「その他について被告等におききになることはありませんか」
さ裁判長はきいた。
「ありません」
「ではこれで結審します」
さ裁判長は宣告した。
係檢事は論告するために起ち上つた。
「被告等の犯罪事實は甚だ明白であります。被告淺吉は△月××日午前四時頃、被告純一の依賴に依つて××警察の天井の一部を破壞して純一、庄助、義輔三名の被拘留者を逃走せしめ自己も共に逃走した事實、更に同日午前五時頃義輔は××區△△町のパン屋大村屋事川上彥次郎方に忍び入つて袋入數個のパンを盜み取り、それを發見し盜品を奪ひ返さんさした店員土田仙三郎を、義輔、淺吉、純一、庄助の四人が暴行脅迫を加へて傷害せしめた事實は刑法第二百四十條及び同第九十八條に該當するものさ思料します、依つて被告淺吉を未定年者の故を以てこれを酌量し懲役五年、被告義輔を同七年六ヶ月被告純一、庄助兩名を各七年に處せられんことを希望します」
檢事はさう簡單に求刑して着席した。

床し、日滿親善！

新京神社で滿人の結婚式

二人は揃つて日本語も達者 元官吏と交換孃

日滿親善、一德一心を結婚生活のスタートから實踐しやうと決心した元營繕需品局滿人官吏がある——新京特別市義和路代用官舍三百六十一號元營繕需品局雇員峯能次君(二七)は元電々會社交換孃魏文綿孃(二〇)との間に縁談まとまり明後八日盛大な式典を擧げることになつたが、新郎新婦ともに日本語もよく解し建國以來日滿親善に努めて來たがこの人生スタートともいふ華燭の典、滿人として前例を破つて友邦日本帝國の出雲の神を祭られた新京神社の御前にお揃ひで純日本式の神前結婚を擧げることゝなり、六日神社々務所へ峯君が自ら申込んだ、新京神社で新郎新婦を始め媒約人まで滿人ばかりの結婚式が行はれるのは同神社始つて以來始めてなので新京神社でも一德一心が高調されてゐる今日この喜ばしい峯君魏孃の神前結婚式を喜んで受付けた

喜びを語る 叔父 峯守雁氏

慶びの峯能次君の叔父峯守雁氏を室町四丁目金城別墅十三號に訪れると

甥は昨年暮まで營繕需品局に勤めてゐましたが今度魏孃と結婚することになりました、始めは自宅(義和路代用官舍)で古式により式を擧げるつもりでしたが特に甥や嫁の注文があつて自分たちはこの際日本の精神を學びたいからカミサマの前で日本式に式を擧げることにしました、披露宴は五時から中央飯店で開かれます、甥は日本語も判り、嫁も元電々に交換手をやつてゐたが止めて東京にゆきこの間父親と結婚のためかへりました、結婚してから二人は台北に就職も決つてゐるからすぐゆくでせう

贈答用郵便切手帳發賣

中元が切迫して各家庭では種々と頭を惱まして居る向が多いが何れの家庭にも必ず必要で喜ばれる贈答品に郵便切手帳がある、私製葉書に使ふ一錢五厘と一般の封書に使ふ三錢の切手とは從來も旅行者等の便宜の爲六十枚と三十枚綴り何れも九十錢賣の小型な所謂郵便切手帳が賣捌かれて居たが遞信局では最近此の切手帳を贈答用に買受る向が殖へて來たので之等の利用者に對するサービスとして全國に類例のない美麗な贈答用包裝紙を特製し七月七日頃から管内の郵便局所で切手帳に添へ一齊に無料を以て頒布する事となつた

因に此の封皮は九十錢の切手帳を二册でも三册でも入れる事が出來るから買受人の希望する價格の程度が加減せられるばかりでなく至極手輕で高尚で而も實用的なものとなる譯である

暑休中の兒童召集日

五日から樂しい夏休みを迎へた市内六小學校の休暇中の兒童召集日と當日の行事は次の通りである

▲西廣場小學校 兒童召集日は七月十五日と八月一日で十五日の登校時間は午前八時、八月一日は早起會とし登校時間は午前五時半、兩日とも訓話および教室の大掃除がある

▲室町小學校 こゝでは七月二十二日から一週間早起會を行ひ、午前六時に登校して校庭の草取り、校舍のお掃除等の勤勞と毎日神社參拜をなす

▲八島小學校 休暇中毎朝午前六時から十五萬市民一般を加へて民衆ラヂオ體操を行ふ外七月十三日、二十五日および八月七日を兒童召集日と定め、何れも午前七時登校となつてゐるが特に十三日には忠靈塔に參拜して塔附近の清掃をなす

▲白菊小學校 兒童召集日は七月十一、二十一、三十一、八月一、十一、二十一日と一の日で登校は午前七時三十分先生の訓話と校庭の草取り、神社參拜をなす

▲三笠小學校 七月十五日と二十三日の召集日は午前八時登校、八月一日は早起會で午前五時半集合して兒童の健康狀態の調査と神社參拜がある

▲櫻木小學校 七月十七日、八月一日が兒童召集日で登校は午前八時先生の訓話と教室の掃除がある外各日曜に早起會をなす、集合は午前六時

夏季大學 申込は速かに

滿鐵新京地方事務所主催春大學特別講演會は九日十日十一日三日間毎日午後三時半から市内敷島高等女學校講堂に於て開催されるが申込者既に三百五十名に達しあと百五十名を殘すのみとなつたが希望者は至急申込まれたいと、なほ講師米田博士は九日午後二時着木村毅氏は同午後五時三十分、阿部講師は十一日午後二時着列車で來京の豫定である

滿鐵ブラスバンド相次で慰問演奏

きのふは公主嶺部隊を慰問 將兵をやんや喜ばす

炎暑とたゝかひつゝ第一線に活躍せる皇軍を慰問し且つ去月二十七日關東軍で一齊に發表した關東軍々歌普及のため滿鐵新京ブラスバンド指揮者加藤哲之助氏以下會員は五日正午新京驛發列車にて公主嶺に到り午後二時から公主嶺衛戍病院庭内に於て傷病兵並に關係者のため約二時間に亘つて軍歌、童謠、關東軍々歌の演奏を行ひ、ついで午後五時四十分から〇〇隊の營庭で將兵のため約二時間童謠、軍歌關東軍々歌を演奏したが關東軍々歌を演奏するや一同印刷せる歌詩を手に合唱するなど比較的娯樂機關の少い將兵を無性に喜ばしめ最後に〃君が代〃を奉唱多大の好果を收めて午後九時の列車で歸京したなほブラスバンドはこれをきつかけに本社後援にて近く新京衛戍病院南嶺部隊の慰問演奏を行ふべく準備を進めてゐる

衛生隊員と稱し金を捲きあぐ インチキに引つ掛らぬやう

最近無智な滿人家庭に滿鐵の制服制帽を着用して『自分は新京衛生隊のものだが採便の際撒いた石灰代十錢を頂きに來た』と言葉巧みに捲き揚げるものあり新京署司法係で内偵中既に判明した被害者だけで二十數件にのぼり、犯人は元滿鐵衛生隊に使用された滿人らしく一寸角位の木判で「新京衛生隊」と刻み「衛生石炭代五毛」と僞造した傳票を使用してゐるが六十枚位は附屬地滿人家庭で集金してゐる、なほ滿鐵衛生隊では公費の外に絶對採便費、石灰その他藥代類は集金しないから市民はこの種インチキに引かゝらぬ様注意されたいと

傷病兵凱旋

七日午後三時四十分着列車でハルピンより傷病兵四十三名來京同四時發列車で新京衛戍病院入院中の傷病兵十六名と合し大連へ向け南下凱旋の途に上る

昨年一ケ年の水害 被害額七千萬圓

被災耕地は一千三百萬畝

滿洲國治水計畫樹立上の根本的資料を獲る爲に國道局にあつては毎年全滿の水害を調査して居たが此の程康德二年中の被害統計を完了した今其の内容を被害の種別毎に示せば左の通である

一、罹災民數 死傷者及避難者を合せて十二萬六千人

二、被害家屋數 倒壞及倒壞せざるも破損を受けたる家屋數は十五萬一千戸、康德元年に比し七萬二千六百戸を増加してゐる、これは本年度の水災が主として人口稠密なる奉天省管内を襲ひたるに因る

三、被害耕地面積は一千三百十萬畝康德元年に比し約四十%減を示してゐるが之は昨年の水害が主として北滿松花江の氾濫に因るものであつたからである

以上の被害總額は六千八百六十餘萬圓の巨額に達してゐる其の内譯は次の通りである

一、水害に因る農耕地の生産不能推定額五千五百四十餘萬圓、農産物の浸水及流失して損耗せる直接被害額九百五十萬圓、合計六千四百九十萬圓

二、家屋の損害額 二百六十五萬圓

三、牲畜の被害額 十萬圓

四、堤塘、道路、橋梁等の被害額は一百萬圓

此の災害額を康德二年度歳入豫算租税額七千六百萬圓に比較すれば我國民は水害により徴税を倍加せられつゝあると同様の結果となる次に災害の分布を各省別災害額に依つて掲記すれば次の通りである

省名	被害額(單位千圓)
吉林	一五、六八七
龍江	三四六
黑河	｜
三江	一三
濱江	一四三
間島	七三六
安東	七、九一九
奉天	四一、六一三
錦州	一、七六二
熱河	一四六
興安	二六九
全國計	六八、六三三

右表に依つて明かなる如く遼河殊に其の支流である太子河及渾河の氾濫が奉天省に及した災害は約四千百六十萬圓で全額の約六十一%に達して居り次は第二松花江の氾濫に因る吉林省の千五百七十萬圓二十三%第三位は鴨綠江及其の支流渾江の氾濫に因り不幸省城の水没を見た安東省で七百九十萬圓約十二%と云ふことになつてゐる

康德元年度の水害が全國的で特に松花江の大規模の氾濫に因つて其の災害額が一億九千餘萬圓の巨額に達した點に比すれば二年度の被害額は必ずしも莫大であつたとは言へない同年度の水災が右表の如く東邊道を中心とする諸河川の氾濫に主因を置く爲に其災威は南滿方面の經濟中心地に著しき打撃を與へ從つて災害強度及民力への影響からすれば決して前年度に劣らないものがあると見られ今夏遼河匪賊の跳梁を稱すること頻りなるは此の故であらうと當局では語つてゐる

七月六日

滿洲國恩賜財團普濟會施療班は本年度秋期事業として七月十五日より九月十二日まで六十日間左の各地に同會の施療班を派遣し地方官民に聖旨を傳達すると共に窮民の救療に努めることにした

三江省 饒河、撫遠、同江、羅北、綏濱、寶淸

吉林省 敦化、額穆、樺甸、舒蘭、磐石

安東省 寬甸、安東、鳳城、岫巖、莊河

遊覽客誘致に觀光協會設立

近く市公署で初の相談會

國都の躍進とゝもに觀光視察客が急激に増加してゆく一方であるので、特別市公署ではこれら觀光客に對し更によりよき便宜とサービスをなし、且つこの際積極的誘致方法を講じやうといふので、大連、奉天、吉林と同様に觀光協會の必要に迫られてゐたが、いよく來る九日午後一時から同署會議室で市公署側、地方事務所その他各關係機關から關係者約三十名會同のうへ同協會設立に關する相談會を開くことゝなつたが同協會は新京觀光協會と稱し新京を中心としてその近接地方の觀光視察客の誘致その他に關する諸事業を行ふといふので、この目的達成のため左の事業を行ふことになつてゐる

一、觀光客の誘致に關する事項

二、觀光客の案内接遇に關する事項

三、觀光施設に關する事項

四、内外觀光機關との連絡に關する事項

五、其他觀光事業に必要なる事項

なほ事業計畫としては漸進主義を以て進み初年度では最低限度に止めることになつてゐるが大要は左の通りである

▲第一年度(康德三年七月—十二月)

一、宣傳紹介

A、パンフレット 案内圖(賣品)繪葉書(賣品)の作成

B、各地觀光事業と連絡をつけること

二、遊覽地の選定並に標識の設置

三、觀光客の案内(ビューローと連繋しビューローに於て扱はざるもの)

四、當地よりの遊覽觀光團體の募集

五、其他觀光事業に必要なる事業

▲第二年度(康德四年)

一、前年度事業の繼續

二、遊覽バス經營(交通會社に委託)

三、遊客サービス改善に關する事業

四、優良なる寫眞帖の作成

拓大辯論部 巡回大講演會

本社後援十二日夜七時から

拓殖大學辯論部では滿洲遊説班を組織し、滿洲各地で巡回大講演會を開催することになつたが、一行は同大學辯論部長柏田忠一教授、同學豫科長齋藤和一教授を始め學生矢吹、古川、早見、堀口の諸氏で新京では同大學辯論部、同大學々友會新京支部主催、拓務省東洋協會並に本社後援の下に來る十二日(日曜)午後七時から室町小學校講堂で大講演會を開催することゝなつた、演題および辯士は左の通りである(寫眞は一行)

一、治外法權撤廢と吾等の用意 辯論部長教授 柏田忠一

一、在滿の諸氏に期待す 豫科長教授 齋藤和一

一、日本民族の世界的使命 學生 矢吹尚文

一、滿洲事變以後に於ける學生層の動向 學生 古川克己

一、轉換期に於ける日本經濟の行く手 學生 早見清榮

一、日本現下の農村恐慌問題を論ず 學生 堀口吉造

閨秀洋畫家 甲斐女史個展

我國洋畫壇の耆宿岡田三郎助畫伯門下の逸材閨秀洋畫家甲斐仁代女史は新興滿洲國の大陸性風物に憧れて來滿數日來哈爾濱を中心に北滿を題材畫嚢を肥やし内地で描いたものをも加へて八日九日兩日に亘り新京記念公會堂に於て個展を催すことゝなつた、女史は大正十一年女子美術學校を優等の成績で卒業し岡田三郎助畫伯の主宰する本郷研究所で勉強をつゞけられ大正十二年以來二科の常連として東都洋畫界に名聲を博せる閨秀畫家で今回の個展には特に岡田畫伯が贊助出品をされるほか佐藤瞻齋氏を始め鄭禹、坪上貞二氏外日滿知名士多數が贊助されてゐる

滿洲協和會 市公署分會 設立準備進む

滿洲國協和會では各官廳に分會を設立し積極的活動に入ることになつたが、新京特別市公署分會の設立準備委員會は六日午後一時から市公署會議室で開かれ設立方法その他について具體的に協議した

イタリーの再起は誤傳

【東京國通】第十二回オリムピック大會開催問題で英國の割込み聲明に次でイタリーはローマ招致の名乘りをあげたとの報はイタリーの食言問題だと云ふので各方面の注目を惹いて居たが、四日杉村駐伊大使より外務省への公電に依ればイタリーオリムピック最高幹部は第十二回大會をローマに招致するの意思ないと再び言明した

9—6 電々先勝す

對奉倶一回戰 けふ第二回戰

大每主催全國都市對抗野球出場の滿洲代表決定試合は電々對奉天滿倶との間に五日より三回戰を行ふ事となり第一日は午後三時廿七分より西公園球場に於て電々先攻、山口(球)、小淵、杉谷、赤木四氏審判の下に開始された、三回戰に第一試合を得る事は殘る試合を有利に導く上に是非必要であり兩軍共ベストメンバーを揃へ奉倶は先づ柴田をプレートに送り機を見て小島或は柏木に交代せしめる作戰と見られたに對し電々は當然鈴木を送つて會戰した、結果は奉倶柴田は連日の雨模様による練習不足から制球力なく四球を連發し三回早くも柏木と交代の已むなきに至り柏木は外角を衝くアウトカーヴで三回四回を輕く退けたが、五回に入り二、四球を一—四で出して不調を思はせるに及び小島之に代つたが小島も亦球威整はざる中に好機をつかんだ電々の猛攻に遭つて三安打を見舞はれ二四球を獻じバックの失策と併せて六點を獻じ既に第一戰を失した感があつた之に對し電々鈴木は三回迄好調とは云へないがバックの好守に事なきを得たが球威を缺き四回に入り忽ち四安打二四球に三點を獻じて之又不調裡に五回より永野と交代してしまつた、後半は小島依然球威乏しく加ふるに野手の連失に全軍の鬪志沈滯し攻撃に廻つては電々の好守にチャンスを逸し9—3の儘押切られるかと思はれたが九回裏永野の氣弛みに乘じて反撃を試み俄然四安打を集中して電々破綻を招き鈴木再びプレートに立ち辛くも反撃の鋭鋒を三點に喰止め結局九對六で電々先勝した

閉戰午後五時四十五分

△スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
電々	0	0	1	0	6	0	0	2	0	9
奉倶	0	0	0	3	0	0	0	0	3	6

△トータル

	打數	安打	四球	三振	犠打	盗壘	失策	殘壘
電々	34	5	11	3	2	3	2	7
奉倶	40	14	3	2	1	2	5	7

△メンバー

電々 稻田(8)吉木(7)鈴木(153)行吉(8)小林(54)大月(4)永野(18)桑原(9)荒木(2)近藤(6)

奉倶 針原(7)香川(7)岡田(8)西尾(8)今市(2)大橋(3)鈴木(3)柴田(1)柏木(1)小島(1)佐藤(4)岡本(5)山崎(8)

△經過

一回「電」稻田の四球を吉木バントで送り鈴木四球、行吉の右飛で稻田重殺を喫す「奉」針原中飛、岡田三振

二回「電」小林遊匍、大月三振、桑原中飛「奉」今市一飛、大橋三匍、柴田遊觸安打、佐藤左飛(兩軍0)

三回「電」荒木、近藤共に四球、荒木本壘よりの牽制球に刺さる、稻田も四球(この時投手柏木となる)吉木の左中間安打に近藤生還し稻田も本壘へ暴走して刺さる、鈴木遊匍「奉」岡本三壘へセフテイバント山崎バント捕邪飛、針原投匍で二壘封殺、岡田二匍(電1奉0)

四回「電」行吉二飛、小林遊飛、大月三振「奉」西尾三遊間安打、今市四球、大橋のバントで二、三進、柏木の一、二間安打で二者生還佐藤の左翼線二壘打で走者二、三壘に據り岡本の二遊間安打で小島生還、佐藤本壘に憤死、山崎四球、小島山崎重盗で二、三進したが針原三匍(電0奉3)

五回「電」桑原遊匍、荒木左前テキサス、近藤、稻田、吉木共に四球(投手小島となる)鈴木の一壘線上安打、行吉四球、小林右前安打、大月に代る永野の遊匍を遊擊手本壘へ惡投、桑原四球と續いて一擧六點獲得、荒木一飛、近藤遊直「奉」(電々投手永野、三壘、鈴木二壘小林となり大月退く岡田左中間二壘打、西尾の右飛で岡田三進したが、今市三匍、大橋左飛に入らず(電6奉0)

六回「電」稻田右飛、吉木三振、鈴木三遊間安打に出で二盗、行吉三匍「奉」小島二遊間安打、佐藤捕邪飛、岡本三匍で二壘封殺、山崎左翼上二壘打で二、三壘に據つたが針原三匍に入らず(兩軍0)

七回「電」(奉天一壘鈴木となる)小林三匍失、永野のバントを投手ファンブル、桑原右飛、荒木遊飛で二死後小林永野併盗で二、三進近藤の右飛落球に兩者生還稻田遊匍「奉」岡田二飛、西尾二匍、今市四球、鈴木三匍(電2奉0)

八回「電」吉木遊匍、鈴木遊失、行吉二飛、小林遊飛「奉」小島三遊間安打、佐藤一邪飛、岡本三振、山崎三匍(兩軍0)

九回「電」永野遊匍、桑原左飛、荒木四球、近藤遊匍「奉」針原三遊間安打、岡田の中前安打、中堅手後逸で針原生還岡田三進、西尾遊匍、今市の左中間二壘打で岡田生還、鈴木投匍失(投手鈴木、三壘永野となる)小島投匍で鈴木二進、佐藤三匍失で今市生還、岡本一飛に萬事休す(電2奉0)

齋藤、谷口 兩警佐來社

首都警察廳司法科庶務股長警佐齋藤光雄同司法科勤務谷口傳藏兩氏は六日着任挨拶に來社

あす(七日)

▲七夕祭

▲傷病兵十五名離京、午後四時

▲輸入組合事務所上棟式、午後四時

▲鹿兒島劍道團來京、午後三時五十分

▲新京醫師會發會式、午後五時半、八千代

▲野球豫定、都市對抗南北決勝第三日

▲體育衛生講習會、南嶺教員養成所

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇 俚謠(廣島)廣島縣佐伯郡嚴島町連中

▲七・二〇 管絃樂とピアノ(東京)日本放送交響樂團

▲八・〇〇 浪花節「鹽釜の血煙」木村友忠

天氣と氣温

昨日の天氣 南の風曇一時驟雨模様

日の出 前四時三分

日の入 後七時二十三分

月の出 後八時四十九分

月の入 前六時三十八分

けふの氣温 最高 二六度八 最低 一七度八

映画と演藝

東西合同大歌舞伎 狂言配役決定 十一日より公會堂

來る十一日より二日間吉野町記念公會堂に來演する東西合同大歌舞伎實川延若、澤村宗十郎の大名題に市川新之助、助高高助、實川延二郎、實川延之助 中村福太郎、澤村百之助等の若手花形連を加へたる二百余名の大一座で狂言と主なる配役は左の如く決したお目見得狂言としては

第一、菅原傳授手習鑑 車曳より寺子屋まで 延若の松王丸、宗十郎の櫻丸、高助の梅王丸、延之助の杉王丸さながら錦繪を見るが如き車曳より宗十郎の源藏、新之助の千代百之助の戸浪、延二郎のよだれくり極め附きの役揃ひで寺子屋まで神品的名演出

△第二、雁の便り參らせ候一幕二場河内屋のお家藝上方での世話物の逸品延若の淺香與一郎は絶品中の絶品

△第三、義經千本櫻すしやの場 當然隨一の折紙附の延若のいがみの權太、宗十郎梶原新之助の惟盛、福太郎のお里前例なき好配役往年の人生相是非お見逃しなき樣

△第四、俠客花川戸助六二幕江戸生粹の名狂言宗十郎の助六氣も浮き立つ名台詞と名演技、延若の鳥居新左衛門新之助の揚卷高助の文右衛門絢爛豪華の大舞台現出

…延若のいがみの權太…

歐洲名畫大會 豐樂劇場

豐樂劇場六日よりの番組た左の如く歐州映畫再映週間である

▽ウファ「黒騎士」コンラット・ファイトの主演する映畫でゲルハルト・ラムプレヒトの監督作品である、秋草茂る北歐の野を馳せる正義の一隊黒騎士の颯爽たる活躍を描いてロマンチシズム横溢せる一編、ファイトの相手役としてマデイ・クリスチャンスが助演、撮影はフラレッツ・プランナーの擔當

▽ウファ「朝やけ」「あかつき」のグスタフ・ウイッキイの監督する作品でルドルフ・フオルスターとカミラシュピラが共演する海戰映畫、ウイッキー一流のダイナミックな手法で全篇を押切つてある邊り、ラストシーンの切々と胸搏つ詩情の中に謳歌される祖國愛等ドイツ軍人精神描いて餘す所なし、再映ものながら思出探き名篇として鑑賞の値ひ十分なものがある

浪花座そのまゝの狂言 栗島一座

栗島すみ子來るの報一度報ぜられるや栗島ファンは更なり一般好劇家に於ても多大の期待を持つて迎へられて居るが何にしろ栗島ほど永遠の人氣を持續した人は尠く各地に於ける盛況もその賜であるとされるが殊に今回の滿鮮巡業にても從來松竹專屬と銘打つて巡演する劇壇もあるが實際松竹興業會社に於ての直屬巡業といふのは今回か始めてあつて、之を見ても松竹がこの松竹キネマ第一の功勞者たる栗島すみ子を遇するの如何に厚きかゞ分る譯である上演藝題の如きも目下上演中の浪花座そのまゝにて、舞臺背景及衣裳小切等に至るまで皆松竹巡業部入念の調製に成ると云ふからこの豪華なる一座の上演け新京劇界にとつても一大收穫と言ふべきであらう

雑音

案外あつけなく岸本氏が豐樂の經營を辭ねることになつた、豐樂側としてみれば出資者間の内紛が一部表面に露はれた譯で余り態のいゝ結果とは言はれず、岸本氏としても今後の經營については愼重な態度で臨まなければ意外な蹉跌に出遇ふことであらう▼具體的な經營方針を詳かにしないが、日活映畫の二館同時封切が現在の狀勢下にあつてどの程度の成功を收めるかは、かゝつて今後の興味の對象となるものであり、これに對處して長春座、帝都キネマが如何なる方策に出でるかも興味を以て眺められるものである▼只危懼されるのは新京キネマの過去における姑息な封建的色彩がそのまゝ大きく延長されることであるが折角日活としても國都における最優秀館を獲得したことではありいよ／＼明朗な、近代的營業方針が確立されて欲しいことである

仙人掌

梅ヶ枝町今年埋められる頭道溝に向つて料亭桐壺の隣、堂々たる新築に引越した三樂園數奇をこらした座敷や調度はたしかに現在新京一と誇るに足るものがある、すし竹、竹の家双方をやめてこゝに勢力を集中したゞけの事はある尤も、竹の家の跡は待合にするとかいふ話▲ところが、この三樂園に一方といふ妓がゐる、本名ぢやない藝名三郎のほかにも一つ一方といふ名をもつてゐる▲どこかに一方といふおでん屋があつたやうに記憶するが、その妓の一方といふのはどう云ふ譯かと詮索してみたが、たゞ笑つて答へない、そのうちに買れつ妓とみへてお買ひで姿を消しちやつた、ハテ一方とは？

第二回京吉驛傳マラソン大會 寄附者芳名

第二回新京吉林驛傳マラソン大會はお蔭を以て滿洲スポーツ界空前の成果をおさめ無事終了したことは主催者として感謝に堪へざるところで大會舉行に際して寄せられた日滿各方面の特別の御援助に對しこゝに芳名をかゝげて心謝を表します

昭和十一年七月 盛京時報社 新京日日新聞社

＝芳名＝國道局、同新京建設處、文教部大臣、滿洲國體育聯盟 情報處 特別市公署、滿鐵地方事務所、新京體育聯盟、蒙政部大臣、首都警察廳、同正副總監、營繕需品局、吉黑権運署、馬政局、赤十字社支部、中野總領事代理 滿洲國協和會 滿洲電業公司、同新京支店、滿洲電信電話會社、同中央電話局 滿洲中央銀行、滿洲炭鑛會社、大興股份公司、滿洲探金會社、滿洲鑛業開發會社 滿洲石油會社、新京交通會社、新京市場會社 滿洲計器公司、大連火災支店 國際運輸支店、南滿瓦斯支店、大連製氷支店、大德股份公司、滿洲火柴公賣承辦處、長春燐寸會社 資山燐寸會社、吉林燐寸會社、日清燐寸會社 新京養馬倶樂部、新京石炭商組合、三井物產出張所、福昌公司 三菱商事出張所、椿組出張所、滿洲航空會社、新京組合銀行團 新京旅館組合 新京朝鮮人民會、西公園事務所、大毎社 鳳三堂 新彩社、本社南新京支局（以上新京の部）

七月七日 五月十九日 火曜 庚寅 大安 危 室宿

●一白の人 心を一つにして業務に協力すれば平穏なり 庚と癸と艮が吉
●二黒の人 念願屈かざれど後日を樂しみに怠る可らず 坤と壬と癸が吉
●三碧の人 意見の衝突を避け我意を貫かざれば吉なり 甲と巳と辛が吉
●四緑の人 大事を思ひ立たざれば過ちなし病難は注意 巳と庚と辛が吉
●五黄の人 苦心の甲斐なく思ふ半ばにも至らぬ衰運日 坤と亥と癸が吉
●六白の人 旱天に雨を得たる如し氣分開けて喜を増す 甲と丙と壬が吉
●七赤の人 人和を失はぬ様努むれば追々と吉に向ふ日 乙と丁と癸が吉
●八白の人 心浮立ち輕忽となりて後悔ある日愼重肝要 巳と坤と壬が吉
●九紫の人 巧言に誘はれて人の餌食となるべき危險日 甲と丁と亥が吉

資材難のパルプ界 滿洲に期待多大
―統制的方策の確立を見ん―

日本に於ける外材の輸入のうち加奈陀材は朱梅、スプルース等白色材多くしてパルプ資材として最適とされるも一方パルプ運賃と比較して丸太運賃が甚だしく割高のため採算困難といふ缺點が考へられるまた南洋材のパルプ化についても北洋材パルプに比較して出來上りの點で短纖維のため多少の缺點はあるが他の點では何等の遜色なく、そこで南洋材パルプを以て單獨に製紙したのでは結果はよくないが北洋材と半々に混合して製紙すると北洋材のみの場合よりも寧ろ良い結果を得ることが證明されてをりレーヨンパルプとしての利用も可能なことが既に實現濟みである、たゞ産地の出材關係で充分工業化の採算が立つか否かが問題で既に王子製紙では之れがパルプ化の研究を進めてゐると云はれる、勿論之等外材の輸入は嚴密な意味からいへばパルプ原料の自給といふ事にはならぬが露領沿海州、材加奈陀材特に南洋材などは今後ますますパルプ資材としての重要性を增して來るものと思はれる次に木材以外のものゝ利用については既に歐米で玉蜀黍の殼棉の莖、甘蔗の搾り粕等のパルプ化を意圖して工業的には何れも失敗を見てゐる、我國でも滿洲の高粱の莖、山野の熊笹茅、臺灣に野生する鬼萱を原料とするパルプ等の研究が進められてゐるが何れも工業化までにはなほ遠い時日があるやうだ、その他落葉松など從來あまり問題とならなかつたもののパルプ化が計畫されパルプ資材の歩止りの向上のための努力も續けられ北海道、樺太等での伐採跡地の大々的植林等百年、五百年後の資材對策が眞劍に考慮されてゐるのであるが玆に最も有望視られつゝあるのは隣邦滿洲國の藏する無盡藏とも言ふべき森林資源である、たゞ滿洲國の森林は杉、松の純粹林ではなく針、濶兩樹の混合林でパルプ材としても壓多く、樺太のトブ松が八十%の纖維素を含むのに對して滿洲のパルプ最適材とされる魚鱗松ですら四十%の纖維素を含むにすぎず、その他警備費出材費の嵩む事等をも考へ合せて悲觀論を唱へるものもあるが、何といつてもその木材資源の量の夥しい事は最も大きな強味でありその點にこそ本邦パルプ工業の將來の源泉も見出されうるのである滿洲における原料パルプの蓄積量は最近の滿鐵調査によれば約百五十億石とされ人絹パルプ原料となる杉、松、魚鱗松は樺太の五、六倍約三十億石とされてゐる、また樺太の亞硫酸法に對し天然ソーダを多量に産するためソーダパルプの製作も可能とされ、人絹パルプとしては不向であるがその夥しい濶葉樹もパルプ化する事が出來る、更にまた豐富なマグネシューム資源を利用して煮沸法を採用する事ができ此方法は製品の純度高くまた製品の均等性も保持し得るので必然的に高級品となり市場でも有利な立場をとる事が出來る、以上パルプ資材として滿洲森林資源は實に幾多の長所を持つてゐるが何よりの強味は我が勢力圈內に於て我國內を以て乏しき我がパルプ工業の永久の資材對策を見出し得るといふ點にある、パルプ業者もこの點に着目し滿洲事變後に於ける滿洲への進出は目覺ましいものがあり、その間利權屋の策動も交つて經營の申請を爲したもの實に三十餘社の多きに上つたと言はれる、關東軍並びに實業部では之に對して慎重に申請者の財力を檢討し、堅實よく滿洲資源の開拓に堪へらるるもののみを選擇して東滿洲人絹パルプ、滿洲パルプ工業、東洋パルプ、日滿パルプの四社のみ認可したのであるが、之は誠に賢明の策といふべくまた將來の濫伐を恐れて之らパルプ會社の資材も政府が林區を指定し政府より原材のまゝ拂下げる方針をとつてゐる、而してこれ等の諸會社をも將來に於ては合併せしめて一大統制會社を設立する意向であるといはれ之は早速には實現不可能と思はれるも早晩統制さるゝは殆ど決定的であらう、またこの統制確立は我が國パルプ資材難の根本的解決のためにも大いに促進すべき問題であつて之と附隨しては現在の不合理なる伐木方法の改善匪賊の横行を完全に驅殺する事等の問題もあり之等の問題についても今後滿洲國に一層の善處が望まれるのである

日本國策に呼應する 滿洲羊毛事業(二)
―緬羊資源開發の現況―

即ち政府では振興對策樹立の上に必要なる諸種の資料調整を行ひ康德二年には早くも緬羊改良增殖三十五ヶ年計畫が確立され、同年より直ちに事業實現に移つた

蓋し舊政權時代に羊牧が衰微への一途を辿つた主なる原因は舊政權の農耕偏重、農民壓迫之に伴ふ國外移住等にあるが、其他天災乃至は緬羊飼育の技術上に大なる缺陷があつた事は否めない、即ち

一、冬季の飼料缺乏(冬季と雖も羊は原野の枯草のみを飼料とした爲に冬季に入ると羊は僅かに露命を繋ぐに過ぎなかつた)と寒氣に對する保護策が講じられなかつた爲氣候不順や獸疫の發生には大打撃を蒙つて來た

二、舊政權時代に於て匪賊は跳梁激しく牧羊を阻害したこと及び農耕地の擴大により放牧地が壓縮されたこと

三、カイセン、羊痘、炭疽其他獸疫に對する防疫施設が皆無であつたこと

等が擧げられる、因つて實業部、蒙政部では防疫施設の完備を急ぎ、防疫補助費を下附し罹病羊の屠殺隔離を行ひ、冬季の寒氣防止施設と積雪の結氷による飼料缺乏防止の爲乾草の貯藏(畜産義倉制を設け飼料の貯藏を行ふべく計畫中)を奬勵すると共に飼料缺乏せる地方への補給手段等が先づ第一番に講ぜられた、又匪害は建國と共に殆ど消滅し耕作地に就ても限度を設けて牧畜地區を劃する等全面的保護助長策の確立を見るに至つた更に在來種の改良による毛質の向上策としては康德二年度に七百頭のメリノー種を米國より輸入し王爺廟、胡陽兩緬羊改良場に飼育し增殖を圖ると共に札拉木特には在來種の優良なるものと外來種の交配により優良雜種の生產に努める一方民間へ優良種羊を貸付け、羊種改良を圖つてゐる

右は政府が樹立せる卅五ヶ年計畫一千五百萬頭目標の增殖改良策の初期事業であるが、十八ヶ年を第一期として康德二年度より事業を開始し、最近更に積極的促進策として五ヶ年を單位に前記計畫の短縮實現を圖る事となり康德四年度より之を實施すべく鋭意具體案作成に當つてゐる、計畫案の要項は

一、國立種羊場の增設
二、防疫費の政府補助增額
三、ルーサン耕作による飼育牧草の增收、耕作奬勵金の下附、ルーサン種子の無料配布
四、改良種羊奬勵費の下附
五、緬羊飼育組合の設立
六、模範牧場設立補助費及民間牧場中優秀なるものを選定して經營補助費を下附する
七、飼育技術の練習
八、優良種羊の輸入

等である

公布された都邑計畫法(四) 建築物統制の爲に 重要な地域制
正常なる都市發展の誘導

都邑計畫法においても「都邑計畫として決定せられたる住居地域、商業地域、工業地域等の各地域及び綠地區、風致地區、美觀地區、工業上の特別地區の各地區內において管部大臣の定むるところにより制限を受く」ることゝなつてをり地域制度を確立してをる。地域制度は都市に建築せらるる建築物を統制する制度であつて、都市の秩序正しき發展を助勢し誘導する所以の途である。而も目的に適つた發展を助勢もし都市に地域制度が確立してゐなかつたならば、交通は混亂を來し、工場商店の經營は能率があがらず、住宅は騷音にをびやかされ難聞こ妨げられて、到底健全快適なる都市生活は期待することが出來ないであらう

×　×

既成都市が往々にして、不健全にして不合理な狀態を呈してゐるのは、所有權に關して、これを絕對自由とする古き法律觀念に基いて、土地所有者が勝手氣儘に振舞ふた結果に原因することが多い、所有權の社會化は都市計畫のごとき公共的福祉增進の施設には、最も痛切に要請せらるるところである。すなはち特定の土地所有者が、その所有權を行使することによつて、社會が損害を蒙るならばその所有權の行使には、必要なる制限が加へられなければならぬ建築物建築に關する、所有權の制限か、地域制度の確保せんとする目的である。そうして地域制度に、用途地域と容積地域の別があるのはいふまでもない。都邑計畫法が住居地域、商業地域並びに工業地域を規定してをるのは勿論用途地域に外ならない

×　×

地域制度の確立してゐない都市では、閑靜快適な住宅地として適當な土地に工場が建つてゐたり、河川、運河沿の重工業地として適切であると考へられる場所に住宅が散在してゐたり、土地の利用を枯死せしめてゐることが少なくない。住宅は住宅のみが集團して、その間に工場その他住宅地の閑靜快適を妨げる建築物を混ぜしめないことが必要である、商店はまた商店のみか軒を列ねて、明るく賑やかな町を造成せなければならぬその間に住宅や工場の介在を許してはならない、工場も同樣に、適當場の所に集團して十分に能率をあげる方法を講ぜなければならぬ

×　×

すなはち都邑計畫においては、地域制度を確立して、住居地域內では住居の安寧を害する惧ある用途に供する建物の建築が禁ぜられ、商業地域內の建築では商業の利便を害する惧ある用途に供せられる建築物の建築が制限せられ、また工場倉庫その他この種の建築物にして、他の地域に建築を許されないものは、工業地域でなければ建築することが出來ない、さらに工業地域內に建築し得る建築物でも、著しく衛生上有害または保安上危險の惧あるものは、工業地域內に特別地區を指定してこの地區內に限り建築を許す制度となつてをる

以上が地域內における建築物の制限の概要である(水口生)

土建ニユース

決定工事
▲大陸科學院廳舍其他新築工事 ●營繕需品局
落札 三十一萬七千五百圓 辰村組
四九八、〇〇〇・〇〇 大同組
三六八、四〇〇・〇〇 福昌公司
三四〇、九〇〇・〇〇 吉川組
四〇七、〇〇〇・〇〇 榊谷組
三五九、〇〇〇・〇〇 福井高梨組
三三二、〇〇〇・〇〇 鹿島組
▲間島省公署模様替修繕工事
示談 三千七百圓 前田組
四、九〇〇・〇〇 清水組
四、九八〇・〇〇 酒井吉原組
五、〇三〇・〇〇 康德組
五、二六〇・〇〇 岳南組
五、五八〇・〇〇 神谷工務所
▲安東航政局廳舍模様替其他新築工事は一、二回共豫超示談協定中
第一回
六、七五〇・〇〇 宇都宮工務所
七、七〇〇・〇〇 水間組
八、〇五五・〇〇 久保工營所
八、六九〇・〇〇 村木組
八、八二〇・〇〇 小島工務所
八、八三〇・〇〇 清原組
一四、八〇〇・〇〇 大村組
第二回
六、六五〇・〇〇 宇都宮工務所
七、七〇〇・〇〇 久保工營所
村木、小島、清原、水間、大村は棄權
豫告工事
▲吉林市立屠宰場新築工事 ●營繕需品局 開札 十三日
▲延吉農林學校新築工事 開札 八日
▲海龍稅捐局新築工事 開札 九日

▲哈爾濱地方法院法廷增築其他工事 ●電々會社 開札 十一日
▲本溪湖電報電話局舍增築並模様替工事 ●滿鐵地方部 開札 七日
決定工事
▲大連驛第二期工事 單獨 二十九萬七千圓 高岡組
▲大連驛煖房給排水工事 落札 十一萬四千五百圓 松澤商會
一二六、〇〇〇・〇〇 第一工業
一一九、〇〇〇・〇〇 三機工業
一三三、七〇〇・〇〇 今井商會
一三四、九〇〇・〇〇 河村商會
▲北振寮外部壁モルタル塗替工事 ●大連工事々務所 豫特 五百三十二圓五十錢 神開貞一
▲中央試驗所一般燃料研究室試驗台取設工事 豫特 百三十圓七十五錢 坂本與一
▲龍頭十一社宅外四戶分ペンキ塗替工事 豫特 五百十九圓 細野政藏
▲北大山通七一、一一社宅外一戶內外ペンキ塗替工事 豫特 二百四十五圓 岩田庄太郎
▲星ヶ浦大和ホテル別館溜水タンク修繕工事 ●大連保線區 特命 百四十七圓 鳥羽鐵工所
豫告工事
▲公主嶺消防所新築工事
▲營口小學校增築工事 ●滿鐵地方部 開札 二件共七日
▲大連埠頭構內一一〇倉庫床面碎石敷設鋪裝修繕工事 ●大連鐵道事務所 開札 四日
▲王家得利寺間一二三、一二七七粁復州川橋梁上線橋台、橋脚補強工事
▲張台子電台間三五一、九二四粁西監棋河大連側上下線橋台補強工事 開札 二件共六日
決定工事
▲牡丹江下區局宅新築工事 ●鐵路總局 豫特 五萬二千八百二十九圓四十一錢 ●奉天鐵道工業
▲錦縣滿人局宅C區地均工事 示談 五千二百七十三圓六十錢 伊賀原組 ●奉天鐵道事務所
▲新京驛構內線路模様替に伴ふ軌道衡基礎其他工事 落札 二千五百二十二圓十五錢 荒井組
二、七〇〇・〇〇 日滿土木
二、九二〇・〇〇 松浦組
三、五〇〇・〇〇 井上組
三、五一〇・〇〇 三田組
▲新京保稅倉庫新設に伴ふ土工工事 落札 五千七百四十三圓一〇錢 西本組
五、〇二〇・〇〇 井上組
六、三〇〇・〇〇 間組
六、二六〇・〇〇 松浦組
六、四三〇・〇〇 草場組
▲奉天保稅倉庫新設に伴ふ土工工事 落札 五千六百圓 吉川組
五、六七一・三五 岡組
六、四六〇・〇〇 昭和工務所
六、四六七・〇〇 荒井組
六、六〇〇・〇〇 倘厚組
▲奉天府炭場內道路築造工事 落札 五千三百九十圓 今井組
五、四八二・〇〇 神田組
五、五〇〇・〇〇 白川洋行
五、六六五・〇〇 共和組
五、八二〇・〇〇 鈴木組
▲北票線六七號橋梁岩壁石張 ●奉天鐵路局朝陽工務段
六八號橋梁床石張修繕工事 落札 八百六十五圓 同生公司
八八九・〇〇 河村土木組
九二三・〇〇 東亞
▲北票線六九號橋梁外二ヶ所岩壁石張修繕工事 落札 九百二十五圓 同生公司
九五二・〇〇 河村土木組
九八八・〇〇 東亞
▲壺蘆島港砂溜防波提基礎工事 ●滿鐵錦州建設事務處 單獨 九千二百五十圓 福昌公司
▲壺蘆島港砂溜荷上場護岸背後地埋立工事 單獨 三萬五千九百九十九圓二十錢 福昌公司

國策審議の閣議は始まつた、十日までにどの程度まとまりがつくか、庶政一新がどの程度に具體化されるか多少の危惧は持たれてゐるやうである▲時局の認識は閣僚相互の間にすらなほ相當の懸隔があると推察されてゐる▲しかし「一新」が現在の輿論であることには違ひがない、現狀維持派がかなりゐるにしても、澎湃として盛り上る「一新」の機運は、日本のいきいきとした躍進、動向を示すものとして取り上げられねばならぬ▲外には貿易異變があり、支那では相當の紛糾が存する、あちゆる方面に變化は大きな波紋を與へつゝ進む、滿洲に於いてもさうした時勢の進展に、これらを綜合し闡明する研究機關等の一層の活動が切望されると考へる、研究の成果を出し惜しみしないことが必要であるこの國に住むすべての人々のために―

商況欄 (七月六日前場)

海外經濟電報
倫敦銀塊 一九片二分一
同 先限 一九片二分一
紐育銀塊 休
米英爲替 休
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール [illegible]
アナゴンダ [illegible]
英日爲替 一志二片[illegible]
英支爲替 一志二片[illegible]
印日爲替 七七留比八分五

▲米棉
現物 休
七月限 [illegible]
十月限 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
三月限 [illegible]
五月限 [illegible]

▲印綿
ブローチ 二二四留比
オームラ 二〇六留比
ベンゴール 一八八留比

▲市俄古小麥
七月限 休
九月限 休
十月限 休

▲カルカツタ麻袋
當筋 二一留比四分三
徹筋 一九留比二分一

金銀市況
●上海標金 本寄 二八八・五
●大連金鈔票 現物 寄付 [illegible]
●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible]

爲替相場
▲上海爲替 ▲日本向 第一回 買賣 一〇二、二五 / 一〇二、五〇
▲倫敦向 第一回 買賣 一志二片八分三
▲紐育向 [illegible]
▲大連爲替 ▲上海向 一〇二、五五 ▲營口向 一〇二、六〇 [illegible]
▲阪神日米爲替 第一回 買賣 二九弗一六分五 [illegible]
▲阪神日英爲替 第一回 買賣 一志二片一六分一 [illegible]

各地株式市況
▲東京株式(短期)
▲大阪株式(短期)
▲大連株式(短期)
▲奉天株式(短期)
[illegible]

各地商品市況
▲大阪棉糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹
[illegible]

各地特產市況
●大連大豆 [illegible]
●同豆粕 [illegible]
●同豆油 [illegible]
●同高粱 [illegible]
●哈爾濱大豆 [illegible]
●同小麥 [illegible]
●神戶豆粕 [illegible]

新京取引所市況 七月五日前場
現物 (一石値段)
大豆 [illegible]
高粱 [illegible]
小豆 [illegible]
玉蜀黍 [illegible]
定期 (混合百斤値段)
大豆 [illegible]

廣告

大正九年十二月四日 第三種郵便物認可

昭和十一年七月七日 新京日日新聞 (火曜日) 第四千八百二十八號 (一)

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社

新國策の決定方針は 國防强化と 國民生活安定が眼目

直に行政機構改革を斷行 七月末まで全貌決定か

【東京國通】三日の國策閣議に電力民營國有案を提出されたのを皮切に現内閣の國策は引續き七日の閣議から審議される豫定であるが、廣田首相並に政府首腦部の方針としては現内閣の使命に鑑み現内閣の國策は國防に次で一に國民生活の安定でなければならぬとの强硬な信念を有して居るので今後の國策決定の方針も飽く迄國民生活安定の徹底に置くもの如く、各大臣より提出される具體案に就てもその點を最も强く期待して居る、而してその結果如何に依つては改めて首相は内閣調査局をして新たなる具體案を樹立せしめ以て現内閣の使命完成を圖らうとの用意を有してゐる

尚行政機構改革は決定國策の實行上必要と認めるものを漸次實現する事を主張、原則として居るが國民生活安定國策樹立のために此際是非とも必要とあれば各方面の波紋を覺悟し萬難を排しても内閣制度改革や省の廢合を斷行する決意を固めて居るから行政機構改革は意外に早く實現を見るかも知れない情勢にある、從つて同問題は恐らく十日過ぎに軍部より提出されるべき國防國策及び豫算項目が決定を見るに至れば如何なる程度の事が實行に移されるか判明しよう、斯くして首相始め政府首腦は國防强化、國民生活安定を中心として遲くも七月末までには現内閣國策の全貌を決定したき意氣込みである

國策の氾濫を 陸相戒む

【東京國通】陸軍は重要國策審議の根本方針として各省割當の總花主義を廢し重要國策を嚴選決定すべきであるとの態度を取つて居るが、各省昨今の情勢では種々の提案が國策の名に於て跋扈する危險が豫想され其の結果所謂國策氾濫に陥り、其の審議上混亂を來し陸軍が重大決意を以て其の遂行を期せんとする新國防充實計畫實現さへ懸念され、寺内陸相は廣田首相に對し此の國策氾濫を乘切るべく政府當局の決斷を促すものと見られる

ビナデス將軍が任期滿了を間近に控へて其の政治的意圖の現れとみられる

海峽條約改訂會議 昨六日モントルーで開會

新條約調印は十一日前後か

【モントルー五日發國通】海峽條約改訂會議は愈々六日午後からモントルーに於て再開される事となつたが、會議の最大難關と目された軍艦の海峽通過に關しては英國、ソヴイエト、フランス、ルーマニア、トルコ五ヶ國代表がジユネーヴに於て協議を遂げた結果、大體諒解成立し同時に海峽を通過する軍艦の隻數に關しソヴイエト、トルコ兩國代表間に協定が成立すれば愈々新條約案が成立する段取りで目下の形勢では十一日前後に新條約調印の運びと豫想される、條約案の骨子左の如し

一、各國政府が聯盟理事會の決定若くは理事會に依つて承認されたる義務を履行する場合には當該國の艦隊に對し海峽通過の自由を承認する

一、ソヴイエト政府はバルチツク艦隊補强の爲必要と認める場合は海峽を通過自由に黒海艦隊を出動させる權限を保障される

一、平時に於てはトルコ政府の規定實施する海峽通過に關する規約を確守する

我が制限緩和要求に 秘國逆捻的回答

【東京國通】ペルーの排日的移民制限法に對し村上公使は三日カルコス・コンチヤ外相と會見大統領令の不法を指摘して其の緩和方を要望した旨六日外務省に公電があつた即ち今次移民を夫々一萬六千人に限定したが現在の移民狀況は支那人七千、イタリー人六千といふ狀態であるに拘らず日本移民は二萬一千人の多數で右の割當量を五千人も超過して居る事實から見て明かに日本に對し差別待遇に外ならない旨を强調したがコンチヤ外相は我抗議に對し寧ろ逆捻的回答をなし日本移民は最近增加の傾きがあつて從來の支那人移民騷擾事件に似たものである事を說き我要望を一蹴した我外務當局は此ペルー當局の回答を不可解なりとし更に其反省を求むべき旨六日折返し有田外相より村上公使宛訓令した同情報を綜合するに今回の措置の原因は同國には最近民族國家主義が勃興し來つた爲め現大統領オスカー・

一九三六年度の ソ聯重工業の進捗

【モスクワ四日發國通】ソ聯重工業人民委員オルジヨニキゼ氏は四日重工業委員部委員會に於て第二次五ヶ年計畫に基く一九三六年の重工業計畫の進捗に關し左の如く述べた

一九三六年度の重工業計畫は今や着々と進捗し既に一月以降六月迄の六ヶ月間に於て全計畫の五〇・三パーセントを完了した、右六ヶ月間の重工業生産高は一九三五年同期のそれに比すれば實に二三七・四パーセントの著増を示し、勞働者一人當り毎月平均生産高に於いても前年に比し三〇・三パーセントの増加である、尚又部門別に増産率を示せば左の通りである

一、石炭工業 二五・七%増
一、精錬工業 三一%増
一、セメント工業 三四・一%増
一、機械製造工業 二七・七%増
一、化學鑛業 三五・一%増
一、製鋼業 三六・四%増
一、製鐵業 三九・四%増
一、製油工業 四二・六%増
一、發電工業 五三・四%増

第二次五ヶ年計畫によれば一九三七年度に於る生産額は三百十六億五百ルーブルと豫定されてゐるが、一九三六年度の最初の六ヶ月に於る重工業の生産額は既に總計百五十六億九千萬ルーブルに上る好成績を擧げてゐる、この成績を以てすれば重工業第二次五ヶ年計畫を四ヶ年を以て完了する事は眞に易々たる事である併し乍ら吾人は徒らにこの成績に滿足することなく今後更に重工業の發展に努めねばならぬ、蓋し重工業の發展は國防强化の基礎たるは勿論勞働者農民一般大衆の物質的文化的向上に貢獻し祖國の繁榮に資す基礎をなすものである

全權大使秘書官 井出中佐着京

新任駐滿全權大使秘書官井出中佐は六日「あじあ」で着京した、氏は園田少佐の後任として着任したもので廿八期の俊秀である

滿洲炭礦會社の 大增資實現せん

十ヶ年資金計畫案の樹立へ

滿洲炭礦會社では既報の如く現在の資本千六百萬圓を四千萬圓に增資し五ヶ年計畫による出炭擴張案を樹て去月廿七日臨時株主總會を招集する豫定であつたが

噸當りの事業資金を八圓とすれば四千萬圓に增資したとしても第一目標たる五百萬圓の出炭に要する資金を得るのみであつて、數年にして再び資金計畫を建直す必要に迫られる事は今より想像に難くないので

此際資本金を八千萬圓乃至一億圓に大々的增資を敢行十年後八百萬噸以上の出炭を豫想して資金計畫を樹てることになつた

同社の現在資本金一千六百萬圓は滿洲國政府、滿鐵折半出資であるが今回の大增資に當つても一般から株式を募集せず依然滿洲國政府滿鐵で出資することに大體諒解濟みである

而して同會社法並に定款の改正その他に就ては目下準備が進められてゐるが、八月廿日頃開催される定時株主總會開催前に臨時總會を開き正式決定をみる筈で、一億圓に增資されゝば滿洲國特殊會社中最大の會社となる譯である

輸入組合 六月の業績

新京輸入組合の六月中における業績は左の如くである

一、貸付及回收

貸付	一一三件 一〇八、一〇四
回收	一〇八件 一一〇、六一八
本月殘高	二三四件 二五九、五六四

二、仕入先

現地	七四、四七九
內地	二九、五七五
大連	三、〇三〇
滿鮮其他	一、〇〇〇

三、組合員及口數滿銀、正隆扱月末現在員數

普通出資口數	一三一 三三七八口
特別〃	一二六四口
合計	四四四二口

飛行機の寢返りで 廣東軍大狼狽

―第二、五兩隊長逮捕さる―

【上海六日發國通】廣東軍飛行機七機が從化、韶州兩飛行場より失踪中央軍に寢返つた事確定的となり廣東軍當局は大いに狼狽、直ちに全空軍に命じて飛行訓練を中止せしめ將兵に對しては昇給加俸を行ふ等逃亡防止策を講じた、廣東軍第二、五兩隊長は部下寢返りの責をとはれ憲兵隊に逮捕され取調べを受けてゐる

寢返つたは 戰鬪機四、爆擊機三

【上海六日發國通】廣東より中央へ寢返つた軍用機はボーイング戰鬪機四、ダグラス爆擊機三で、五日吉安飛行場に於て中央軍に接收された

川越大使 今日蔣氏と會見

【南京六日發國通】國書捧呈を終つた川越新大使は本日午前十時中山陵へ參詣花輪を捧げ、七日午後七時中山門外の孔祥熙氏別邸で蔣介石氏と會見、着任の挨拶を兼ね約一時間時局に關する意見の交換を行ひ續いて八時より蔣氏の招宴に臨み、八日午後の汽車で上海に向ふ筈

尚ほ川越大使は二中全會の經過により時局の推移に見透しをつけた上で正式國交調整に乘出すべく、今回は單に儀禮的挨拶に留まる筈である

天津市長 早くも更迭說

【天津六日發國通】蕭振瀛氏の後任として張自忠氏が天津市長に就任して未だ一個月を經過せぬのに早くも市長後任問題が噂に上り一時山東の韓復榘系人物王復亭氏が話題となつてゐたが、今回愈々馮玉祥系の人物で元北平特別市長であつた何其鞏氏が就任し、張自忠氏は河北省政府主席に就任するに決したと傳へられてゐる右の如き人事を以て山東勢力を河北に進展せしめんとする魂膽だと見られてゐる原因の一つには曩に天津市公安局長に山東出身の程希賢氏が就任した事にあるが、天津市長何其鞏氏就任の人事は南京政府の山東省懷柔方策の一手段であるだけに之が實現せば宋政權の勢力腕弱化を瀰す重大要素をなすべく、宋哲元氏等は絕對反對の態度を堅持するものと見られ之が實現性はなき模樣である、兎もあれ南京政府は最近遽に北支政局に對し積極的に出で冀察政權と日本との提携工作を破壞せんとする態度に出てゐる事は注目すべきである

伊國北境に 大軍集結

鐵壁の防備陣を構築

【ウヰン五日發國通】伊ユ兩國の戰爭一段落とゝもにイタリー政府當局は北境ブレンネル峠一帶に頻りに大軍を集結し、更に鐵壁の防備陣を構築して居ると傳へられる北境線に接するオーストリア、ユーゴー・スラビア兩國の人心は戰爭の開始を豫想して戰々たる有樣である、一方ユーゴー・スラビア政府も演習と稱して國境地帶に步兵並に砲兵の大部隊を移駐して居ると言はれ、國境線上の情勢は連日惡化の一路を辿つてゐる

日本製スライド・ファスナーに 米が高率課稅

【東京國通】四日外務省着齋藤駐米大使よりの發電に依れば日本政府よりの緩和折衝は無效に終り、七月一日大統領は日本製スライド・ファスナーに對し現行關稅從價四割五分を六割六分に引上げるべき告示に署名した、課稅引上げ實施期は七月卅一日からであるが、之に依つて內地當業者は相當の打擊を蒙る譯である尙ファスナーの對米輸出は昨年度の七百萬圓十八萬弗に對し本年一月以降四月末迄に八百萬圓、十九萬弗に達した爲に米國當業者の政府に對する反對陳情を惹起せしめたのであるが、最近米國側には輸入額少ないものでも增加率の著しいものには防遏すると云ふやり方が顯著なので外務當局ではこの點に就き齋藤大使をして米國政府の猛省を促さしめる事になつた

新京に於る 六月分小賣物價

新京に於ける昭和十一年六月分の小賣物價を同月十五日現在に依り調査するに其の概要次の如し

一、騰落割合(重要品目三十六種に付算出)
前月に比し五厘下落
前年同月に比し九厘下落
昭和五年一月に比し指數一〇一、〇即一分騰貴
昭和六年十一月に比し指數一三六、五即三割六分五厘騰貴

尙類別に依る指數を示せば次の如し

	前月を一〇〇とす	前年同月を一〇〇とす
食料品(十種)	一〇〇・五	九九・七
調味料(九種)	一〇〇・五	一〇五・〇
飲料及嗜好品(八種)	一〇〇・二	九九・〇
衣料品(七種)	九六・四	九三・七
燃料(二種)	九九・六	九七・四
總平均(卅六種)	九九・五	九九・一

二、騰落品目(調査品目五十九種中前月に比し騰落したるものを揭ぐ)

▲騰貴四種
醬油醬甲特(八分三厘)醬油醬甲さ(八分三厘)白米無檢査一等(四分八厘)サイダー三矢(四分三厘)

▲下落七種
玉葱(五割)晒木綿(一割七分六厘)綿ネル(五分九厘)煎子(五分)ビールサツポロ(二分五厘)ビールキリン(二分五厘)石炭(八厘)

▲保合四十八種

內地實業界の巨頭連 今秋大擧來京

日滿實業協會總會並懇談會へ

日滿實業協會總會並懇談會は來る九月十五日、十六の兩日新京記念公會堂において開催結城豐太郎、中野金次郎、森大阪商工會議所會頭、以下百五十余名の日本有數の實業家連が入滿することゝなつたが先般之が打合せに內地大都市に赴いた尾藤會議所理事も五日歸京したので愈よ本格的準備にとり掛ることゝなつたなほ尾藤理事の報告によれば內地においては懇談會に對し非常に熱心であり、かゝる有力者の滿洲視察は大いに期待されてよいとのことであり、一行は南滿各都市視察後來京、總會終了後は二班に分れ、一班は哈爾濱、北安鎭、大黑河、齊々哈爾等に赴き、一班は北支に向ひ山海關、天津、北京、濟南、青島方面を視察する豫定である

滿鐵辭令

▲鐵路局
新京機務段機務副段長 事務員 前田伊平
吉林機務段庶務副段長ヲ命ス
吉林鐵路局總務工事科 事務員 岩滿虎二
新京機務段庶務副段長ヲ命ス
(七月一日)

▲鐵道部蘇家屯機關區點檢方 技術員 川村嘉八
新京機關區運轉助役ヲ命ス
(七月一日附)
新京機關區機關士 技術員 村谷良平
蘇家屯機關區橋頭分區機關士ヲ命ス
(六月二十九日)

▲地方部
新京地方委員議長 大原萬千百
衛生委員會委員ヲ依囑ス
(六月十五日)

▲鐵道部
四平街驛構内助役 事務員 玉置龍
新京驛貨物助役ヲ命ス
新京列車區四平街分區車掌 事務員 壽賀千代治
楊木林驛助役ヲ命ス

人事

▲堀巖太郎氏(大阪朝日新聞記者)六日來京都ホテル
▲松山茂氏(淺野物產大連支配人)同
▲小山猛男氏(滿鐵經濟調查會副員)同
▲田中九一氏(同)同
▲山崎雄城氏(同)同
▲中野一士氏(騎兵中尉)六日牡丹江方面へ
▲郡士廉氏(中央訓練處長)六日午後奉天へ
▲仲川彥太郎氏(工業)同ハルビンへ
▲小園泰敏氏(商業)同吉林へ
▲中村定輔氏(滿洲國官吏)同來京中央ホテル
▲金山直藏氏(官吏)同
▲近藤繁司氏(商業)同

社説
對支關係の一轉期
桑島東亞局長の打診に聽く

一

先月初旬より滿洲支那全般に亘つて視察旅行に上つた外務省桑島東亞局長は、凡そ一ヶ月の日子を費し、滿洲から北支南支に亘り、わが出先官憲と打合せをなし且つ支那側當局者と日支國交について意見の交換を遂げて歸東した。同氏はその歸朝談に於いて、張群外交部長、孔財政部長をはじめ政府要人、韓復渠、楊永泰等地方廳主席、民間實業家、操觚界の權威等各方面の人士と會談したが、異口同音に日支國交增進に善處する必要を力說し、有田外相、川越大使もともに支那をよく知つてゐる人々が當事者となつたこの機を逸してはならぬとしてゐるが、この聲は掛値のない眞實であると思ふと語つてゐる。

二

果して支那にその程度の覺醒が持ち來されたであらうか客觀的情勢を考ふれば、歐米諸外國が餘りにも頼りにならぬことを味合つた結果であらうとの觀察も可能である。しかしながら、支那の現狀を見れば、桑島氏の見解に些かの不安を感ぜずにはゐられないことをわれらは思ふ。桑島氏自身も、支那のこの覺醒機運を好機に、我方も愚圖愚圖せずこの機會を捉へて充分の好意を以て進まぬと英、米等に乘ぜられる惧れがある點は警戒を要する、ドイツとの一億圓クレヂット問題もその好例に外ならない、と語つてゐる。また、經濟援助の問題は鐵道の建設の問題についても北支のみならず南支にもと云ひ、山東省の韓主席や青島市長沈鴻烈も日本の援助なくしては經濟復興は出來ぬと言つてゐるが北支密輸には南京政府も困惑の態であり、現地特に上海方面から觀察すると外部で日本の支援があるやうに敎へられる傾きがあり、我方も考へねばなるまいとしてゐる。

三

これを要するに、北支密輸問題その他情勢の逼迫に鑑みて日本との親善關係を樹立しなければ支那財政の立て直しは勿論、各般の問題は打開し得ぬといふ意見が官民一般に擡頭してゐるといふことは將來性を約束する最近の新現象であらう。王克敏氏の起用をこうした關聯にだいて見ることも一應妥當ではあらう。だが北支密輸が日本の支援によるとの誹謗は斷乎として排擊されねばならぬ。尤も支那側に於てその根本問題である高率關稅の引下げを實行するならば、これに對應し密輸阻止の道德的援助を考慮する好意はあるのである。東亞政策の確固不動はすでに決定的なものなのだ。たゞその今後の發展は相手方の動きに對應しての敏活なフレキシビリテイある伸長性が豫想されるだけである。

東蒙古の草原を訪ふ（完）
南興安の山裾、夏草茂る中に
殉難の士を偲ぶ
王爺廟にて　山口特派員

王爺廟の一つ手前に葛根廟といふ驛がある、この地方で寺格高く、由緒のある寺として聞えてゐる葛根廟はその驛から小一里もあらうと思はれる稍小高くなつた丘の上に華麗な偉容で聳え立つてゐるのが車中からも見られた、一行は廿七日の朝、軍官學校のトラックで草原を一時間近く馳つてこの喇嘛廟を見學した、洌洌に流るゝ洮兒河を横切り牛や羊の放牧群を見、吼え走る蒙古犬に暫し追はれたりしながらやがて廟の西藏建築の前に立つた、ちやうど朝の勤行をやつてゐる所であつた、本廟は梵通寺と活佛殿の外に廣覺、廣壽、宏濟、豐道、ホールーイン、セルリンの六寺より成つてゐる、正面中央にあるのが梵通寺、後方に活佛の御殿がありその左右兩側に前記の諸寺がある、そして更にそれらの兩翼に數多の僧房が整然と並んでゐる、一山の僧侶の數は現在四百人餘と聞いた寺內の見學を終り前庭に出て喇嘛僧の踊りを見た、異樣な面をつけ、きらびやかな扮裝をして、一種特別な長い喇叭と鐘による奏樂につれ五十人くらゐの老幼の僧たちが廣場をぐるぐると踊り廻るその單調さの中に特別な神祕的な意味があるのであらう、太陽すでに高く、灼くやうな熱氣の中に繰りひろげられた一刻のこの繪卷は全くエキゾチックなものであつた

×

喇嘛教は蒙古人の唯一の信仰であると言はれて來た、しかし今日では蒙古人一般が喇嘛教に對しての信仰心を薄らがせつゝあるやうである、西蒙古地方は別として、東蒙殊にこの地方に於いては喇嘛教はもはや蒙古人の生命ではあり得なくなつてゐるとは現地研究者が與へてゐる結論である時代の流れがそこにも窺はれると言はねばならぬ

×

この日、われらは午後から蘇摹公府に向つた。科爾沁右翼後旗公署の在る所、そしてかの滿洲事變の發端をなした中村、井杉兩烈士の殉難地なのである。こゝでは舊知片倉進氏に會ふを得、その東道を得た。部落を北にはづれた一面の夏草の傾斜地に、兩烈士並びに同行した一ロシア人と一蒙古人との靈體發見の旨をしるした碑がある、さらに前方にそゝり立つ高い丘の頂上に立派な石造の殉難記念碑がある、われらは途中取り來つた姫百合の赤い花束を碑の前に捧げたのであつた、この日まさにこれら烈士の殉難の日からまる五年を數へる記念の日に當つてゐた、昭和六年六月興安嶺の旅を終つて、當時屯墾軍第三團の駐屯地であつた此處に進み來つて彼等は犧牲となつたのであつた。今も屯墾軍の土造の兵舍の跡は殘りかれらが着手してゐたといふ機械化農場の地域だけが黑く遙か向ふの草原に見出されるのである、屯墾軍は事變後は此處を逃亡して馬占山軍に合流した、彼らが逃亡に際して地下に埋めて行つたトラクターの殘骸が今も掘り出されるといふ、時流れて五載、いまやこの地方は貧しくはあれ平和な地域である、旗公署に旗長その他の諸氏と語り、更に治安隊等を見學して王爺廟に引き上げた。王爺廟の最後の夜、ランプのもとに一行相集まり、東蒙見學の機會を與へられた軍政部に感謝した。

（寫眞は中村井杉兩氏遺骸發見地の碑）

羊毛に勝る代用品
繭の研究で成功
企業的研究に着手

【東京國通】對濠通商擁護法も愈よ發動される事となり、吾々の日常生活と切實な關係ある洋服も

非常 な値上りを示さうとしてゐるが、豫て斯る非常時を考慮して全國蠶業試驗場其他關係學校を督勵繭に依る羊毛代用品の研究に沒頭してゐた農林省では最近同方法に依り保溫上から見ても寧ろ羊毛製品より優良な洋服地の製造に成功し、洋服界に大革命を齎すものと期待されて居るが、來る九日から行はれる蠶業關係官會議の席上でも右製法による洋服の諸試驗を依賴する事となり頗る注目を惹いてゐる、現在羊毛代用品としてはファイバーが唯一のものであるが、これは保溫上の見地から羊毛に劣る點があり殊に我陸軍の如く零下數十度に達する北滿警備の重大任務を有する軍隊の制服としては不充分であるが、絹糸による制服を製作するときは羊毛と變りなく更に之に特殊的物理作用を加へて混毛紡織するときは純毛製品以上の好成績を示し得る事が判明して居る、たゞ現在では未だ工業的製作としては疑問があるので去る第六十九議會に於て繭生糸の新規利用研究費として協贊を得た十二萬八千圓中から洋服地製造に

必要 な特殊原糸の研究費を割いて今後主力を進める事となつたがこれが完成の曉には濠洲羊毛輸入杜絕の脅威は除去し得るのみならず國防的見地からも重大な影響があるので、當局ではその成否に非常な關心を拂つて居る

明年度豫算 卅億圓突破か
政府財界の動搖を警戒

【東京國通】庶政一新を標榜して所謂重要國策は三日の閣議で開始され賴母木遞相の電力、航空、海運三國策案など

閣僚 より夫々所管の國策案が提出され今後引續き各閣僚の說明を終つて、次で大體來る十三日頃迄に一應第二段の國策閣議に移る事となつた、各閣僚より提出される重要國策の實施に要する豫算總額は明年度分のみにても既に提出された電力國營費五百卅五萬圓、航空振興費二千四百萬圓、海運國策費一千五百萬圓、合計約四千五百萬圓を始として今後提出を豫想されて居るもので要求額の略々判明せるものを概觀すれば陸海軍新國防計畫費、保健國策費、燃料國策費、義務敎育八年制實施準備費を加へて重要國策實施に伴ふ新規要求額のみで約十二億圓の巨額に達し明年度豫算總額は優に卅億臺を突破せんとする形勢にある、然も之に對して馬場藏相の腹案には明年度歲入計畫の限度も公債を合せて廿八億圓前後に止め稅制整理及び增稅による增收計畫も財界方面の動搖を恐れ極力可能なる最少限度に止めやうとして居る、從つて重要國策費に一大斧鉞の加へられる事は

必至 とみられるが之が成行如何では政治問題化する虞れあり成行注目されて居る

婦人團体聯盟 協議會終る

新京婦人團體聯盟協議會は六日午前十時から地方事務所々長室にて開催　武田委員長を始め星野、青木、前野、塚本加藤、矢澤各委員、高山社會主事加藤係員等にて議題(一)九月祭開催の件(二)會計常任委員選擧の件(三)名簿訂正の件(四)資金預金の件等につき高山主事より

九月祭開催の理由とするところは國民體位の增進と質實剛健の士氣涵養のため近來各種スポーツの隆昌は洵に喜ばしい現象であるがこれは男子のみに限られてゐる感がある、將來國民體位の增進を圖るには先づ第一に立派な母體をつくらねばならぬその意味に於て今秋郊外に於て婦人聯盟が主催して全新京の婦人を網羅して大運動會を開催し婦人の健康增進と各婦人間の親睦を圖るやうにしたい旨を說明各委員異議なく贊成會計常任委員には青木きくみ夫人が就任其他議題は異議なく原案に決し午前十一時過ぎ散會した

讀者の領分
投稿歡迎　中傷不可

一職業婦人に與ふ
一讀者

人生は豚の屠殺場に非ず、エデンの園の誘惑はイヴの人間的欲望なくしては、成立せざりしが如く、婦人の輕率と、雌雄の生物學的法則とが存在するに非ざれば、貞操蹂躪沙汰など起るものに非ず。結果を是認するに非ず、唯目前に起りし事實は、遺憾ながら決して意外な事實ではないみれば、日常生活と悖理するとも思へません。所謂貞操蹂躪料金の低下は、男性の非行容認に非ずして、アナタ・ガタの自覺を要求するものに非ずや。われ〳〵の生活を規定するものは、各自の人格から滲み出た理想追求の人間的意慾である。

古來よりの人間の歷史は、筆者の論理をはつきり證明してゐます。

姦通罪には、告訴を待つて之を論ずるとあるは國家が一應當事者間に其の解決を諜らんとしてゐるものである。又一體、大きな姿をして誘拐されるアナタ・ガタですか？誘拐罪はもう御用はないでせう。ついでに一言します。法律は日常生活の經典ではありません。勿論起り來る人間生活のいざこざの判定規準であつてつても、南瓜以外の何物でもなし。「神聖なる」職業婦人「可憐なる」タイピストは、各自の生活態度に依つて定るものにして、最初から職業婦人、タイピストに貼られたレッテルと愚考するは、アナタ・ガタのおめでたさです。

タイピストと賣笑婦が本質的に全然同じであるとはタイピストに媚を賣りなさいとの謂に非ず。かく云へばとて云ふ所の職業婦人群の輕蔑とはならず。賣笑婦の光榮ともなりません。唯、各自の職分と職場を異にし、從つて其環境に依る味の相違は免ぬかれ得ず南瓜は煮ても、焼いても、南

筆者は、不良の跋扈よりアナタ・ガタの無智を嘆く。現實を美化せず、醜化せず、自惚れを去つて直視しやうではありませんか。筆者はかゝる悲しむべき人間的過失を聞く度に第三者各自の三省を求めて人間の一歩前進を期待し、傷ける者の過去を「忘れて」やりたい希望を持つ。

新京第三次競馬 最終日成績

▲第一競馬（二、〇〇〇米、三頭）1北龍（二分五三秒）2精實軒、配當—單七圓一〇、複外一、ガラ1一〇六圓六〇等外一三圓三〇
▲第二競馬（一、八〇〇米、三頭）1日之出（二分三二秒二）2廣州、配當—單一七圓五〇、ガラ1一二一圓六〇等外一五圓二〇
▲第三競馬（一、六〇〇米、二頭）1惠壽（二分二二秒一）配當—單一四圓四〇、ガラ1一五七圓八〇等外三九圓四〇
▲第四競馬（一、八〇〇米、七頭）1九千部山（二分三三秒二）2寶榮3川內配當—單一九圓九〇、複1九圓五〇2一三圓、ガラI四〇九圓六〇2一〇二圓四〇等外二五圓五〇
▲第五競馬（一、六〇〇米、三頭）1千駒（二分二〇秒四）2公武、配當—單一四圓六〇、ガラ1三四七圓七〇等外四三圓四〇
▲第六競馬（二、〇〇〇米、十二頭）1新勝（二分四六秒二）2白縫3一貫、配當—單一二圓五〇、複1七圓六〇2九圓二〇3一一圓五〇、ガラ1一、〇七九圓六〇2三〇3一五四圓二〇等外四二圓八〇
▲第七競馬（二、二〇〇米、七頭）1奉天青雲（二分五七秒三）2阿爾山3新京如龍 配當—單九圓二〇、複1七圓二〇2五一圓六〇、ガラ五一〇2一二八圓六〇等外四三圓二〇
▲第八競馬（二、四〇〇米）1逸（三分二二秒三）2眞弓3盤龍、配當單—七四圓〇〇、複1九圓九〇2六圓〇〇3二〇圓七〇、ガラI一二〇圓四〇2二八九圓二〇3一四四圓六〇等外七二圓三〇
▲第九競馬（二、四〇〇米、七頭）1旭正（三分〇七秒一）2新鷹、配當—單五圓五〇、複1五圓三〇2六圓七〇、ガラ—五二四圓八〇2一三一圓二〇等外三二圓八〇
▲第十競馬（二、四〇〇米、十四頭）1第四天峰（三分二〇秒三）2開進3蘆谷配當—單二一圓三〇、複1九圓四〇2四三圓五〇3六圓四〇、ガラ1一、〇七五圓二〇2三〇3一五三圓六〇等外七圓二〇
▲第十一競馬（一、八〇〇米、八頭）1新京輝（二分二九秒三）2丹峰快々、配當—單八圓〇〇、複1五圓八〇2一一
▲第十二競馬（一、六〇〇米、五頭）1麗（二分一一秒一）2黑墨、配當—單七圓五〇、複1五圓五〇2七圓四〇、ガラ1三八九圓一〇2九七圓二〇等外四〇圓五〇
▲第十三競馬（二、八〇〇米、八頭）1公主嶺五月（三分五五秒三）2早雲3一天、配當—單六圓九〇、複1五圓二〇2一〇圓一〇、ガラ1七一六圓八〇2二〇圓四〇3一〇二圓四〇等外五一圓二〇

商況欄（七月六日後場）
株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一九・九〇	一九・九〇
豆鈔新	一五・五〇	一・五〇
錢鈔新	三〇・五〇	三〇・〇〇
東鐵新	六・八〇	六〇・八〇
滿新新	六七・九〇	六七・九〇
二新新	七三・四〇	七三・四〇
日産	一五八・〇〇	一五八・一〇
鐘新	[illegible]	[illegible]
奉天	[illegible]	[illegible]

▲株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取新	一三・四〇	一三・一〇
東新新	一三・四〇	—
大新新	七一・五〇	七二・四〇
日産	七三・七〇	—

銘柄	寄	引
鐘新	一五八・〇	一五八・一〇
五品新	一六・八〇	—
豆新	二〇・〇	—
滿鐵新	六一・〇〇	—
二新	七八・一〇	—
電甲新	二二・四〇	—
同乙	一七・一〇	—
東拓	三三・五〇	—
東亞	—	—
滿興	二四・六〇	—
滿毛	一七・六〇	—
優先	一八・八〇	—
日雷	六八・二〇	六九・一〇

各地商品市況

▲橫濱生糸　當限 —　先限 七一〇・〇〇　節引 後　七八〇・〇〇
▲大連麻袋　現物 三十三錢　五月限

手形交換高（六日）

金票 一七七、五九三四〇四
鈔票 —
國幣 六〇枚 六九五、一八〇四〇五

鮮魚小賣相場（六日）

品名	最高	最低
活鯛	一三六	六六
氷鯛	…	…
中鯛	九〇	…
チヌ	…	…
アマダイ	四三	…
イセエビ	一二〇	七二
車エビ	五六	三二
ヒラス	二八	一七
黑鯛	…	…
マグロ	…	…
カツオ	…	…
ブリ	一八	…
サハラ	二六	一九
メバル	九	…
赤ムツ	…	…
イワシ	…	…
ニベ	一二	八
サワラ	一八	七
アヂ	一六	八
ヒラメ	一九	一〇
コチ	…	…
コノシロ	三〇	一八
マナカツオ	二四	…
ホーボー	…	…
ボラ	…	…
キス	三〇	…
サヨリ	…	…
タコ	…	…
カニ	二〇	一六
小エビ	…	…
カレイ	…	…
タイラ	…	…
甲イカ	五五	五〇
アワビ	六六	三六
クロナマコ	…	…
貝柱	…	…
シジミ	一一	…
ハマグリ	八	六
カキ	…	…
ウナギ	…	…
マグロ切身	…	…
ユベ	二〇	一二
ブリ	…	…
サハラ	五五	三五
チヌ	…	…
カマボコ	一四	…

名勝龍潭山一帶は高勾麗時代の城址！

黒田、山下兩博士の調査報告

【吉林支局】北山、小白山と共に吉林三山として、秋天紅葉の候ともなれば炎える樣な山容にそぞろ遊子の感慨をそゝる龍潭山は又一面古代文化の絢爛地帶として、かねて一部考古學者の注目の的となつてゐた事は一般的には餘り知られて居ないが、今回奉天國立博物館の委囑を受けた醫大黒田、山下兩博士と、吉林省公署教育廳の積極的調査によつて龍潭山を中心とした團山子、帽子山にかけての一帶が今を去る約二千年前高勾麗時代の城址である事が判明古都吉林に一段の精彩を添へた、即ち兩博士は國立博物館河瀨主事並に滿日文化協會杉村氏を帶同、吉林省教育廳岩間氏東道の下に去月廿七、八兩日に亘つて、先づ京圖線龍潭山驛附近から山腹、山頂にかけて綿密な踏査を行ひ、最後的な收穫を收めたが、調査整理を終つた岩間氏は語る

龍潭山驛前の畑中、地下二尺ばかりの粘土中から現れた土器や日瓦の破片は純然たる高勾麗時代の遺物である事が今回兩博士によつて立證された、日瓦は赤色と灰色の二種あつて、これは布目瓦(渤海國時代以前の陶法未だ幼稚な時代)の所產で千三百年乃至二千年を經たもので、各地の高勾麗遺趾に見られるものと同一でありこれだけでも充分其の

時代

が立證されるものである、同所附近の畑中にはこれ等の破片が處々に露出して居る、山の中腹に城門の跡があり兩側に高さ一丈ばかりの土壁が續いて居るが此處は城の南門の跡と見られる、年中水の涸れない靈池として有名な龍潭池は、實は谷間を亘る土壁を築くために土を掘り採つた跡である、山頂の周圍を巡つて土壁が幾つて居り、北側に至つて北大門の跡が見受けられる、此處から少し下つた所に大きな旱窂がある、深さ一丈五尺直徑三丈ばかり石垣造りの圓形の大穴で、これは當時戰爭の度に人質を收容したものと言ひ傳へられて居る、城壁の長さは約一邦里に及んで、山城ではあるが實に要害堅固な地の利を得て居る、尙今回の調査で南に當る團山子から東方の帽子山にかけて、同樣な

遺物

遺跡が發見されたが、これに依つて、龍潭山を本城として團山子から帽子山に支城を築いて居たと見られる、地形から見ると丁度三角形をなして居り、南北四五支里東西三四支里の廣大な地域に據つて堂々四圍を睥睨して居た其の昔の王侯の風貌が彷彿として忍ばれて來る殊に帽子山には五個の古墳があり出來得ればこれを發掘して見たら或は更に貴重な考古資料が得られる事と思つて居る

乾隆帝御物の名器 天地交泰瓶發見

教育廳岩間氏所藏

【吉林支局】天下に二つと無いと稱せられる乾隆帝御物の名器が吉林の一考古學者の手に藏められて居る事が今回奉天醫大黒田、山下兩博士によつて發見され斯界に大センセイションを投げかけて居る、高勾麗城跡調査のため來吉した奉天醫大黒田、山下兩博士は更に古都吉林の巷間に埋れた古物名器を世に紹介する意味で各所に就いて實地調査する所あつたがはからずも教育廳岩間氏所藏にかゝる陶器が淸朝文化の爛熟期にあつて殊に陶工技術の絢爛華麗を極めた乾隆時代に皇室の御物として珍重された天地交泰瓶である事が判明した、高さ約一尺八寸、黃、藍、水色等の地色に精巧極彩な模樣を燒き付けた逸品で見るからに崇高な感を與へるこれは皇室で謁見室の五裝飾品の一つとして知られ曾て北京古物陳列館に一個所藏されて居たが約廿年前罹災によつて燒失して以來其の對品を見なかつたもので今回の發見は乾隆時代を語る好個の資料として各方面の絕讚を受けて居る

◇……潮風孕んで(內地便り)

北鮮火田民漸次安定す

【京城支局】總督府の北鮮開拓事業者は昭和七年着手以來順調に進捗し北鮮火田民等も當局の指導斡旋よろしきを得て漸次安定し農耕法の改善畜牛の飼育等堅實な營農的進展を見つゝあるが開拓地區內にはホップ及亞麻の耕作適地少からずホップはキリンビール會社又亞麻は帝國製麻會社が同地方に進出、試驗時代を經過して總督府援助の下に本格的栽培に着手し耕作火田農民も唯一の現金收入の途を得て喜々營農してゐる現狀に總督府でも愈々力を得て本格的奬勵に努め火田民の良民化へ乘出すことになつたから西北鮮の豐庫開發と相俟つて火田指導も結實を見るべく待望されてゐる

鳳凰城第三區の警士殺害事件判明

【安東國通】安東警務局石渡捜査班は去る一日鳳凰城第三區東安村に於て闘生堂匪を發見交戰の後擊退したが、この戰鬪に於て逮捕した姜仁達(三九)を警務局に引致取調べたところ、右は匪の副官として重きをなして居たもので去る五月廿四日東安村長山子に於て第三區警察署勤務警士修裕民(二八)周震業(二八)兩氏を拉致、同村山中に於て兩人を生埋め虐殺せる事實を自白し月餘に亘りて迷宮入りとなれる警士虐殺の戰慄すべき凶行は玆に判明した

哈市接客業者電話料金値下嘆願

【ハルビン支局】當市の電話料は北鐵時代その儘のものを踏襲し今日に及んでゐるが該電話料は南滿都市の統一性に比して等級制をとり高率に過ぎるとの理由に基き當市邦人旅館組合及飲食店カフェー組合では結束し滿洲電信電話會社哈爾濱管理局宛に電話料金値下げの嘆願書を呈したがかゝる運動は旅館、カフェー、飲食店が既に飽和狀態に達し一面斯界が不景氣にあるを物語るものとして此が成行は各方面から注目されて居る

南崗文廟諸計畫實施

【ハルビン支局】濱江省管理の當市南崗文廟は市民は云うに及ばず、遠く全國滿人崇拜の的であるが當局に於ては王道主義宣揚の見地から左記各項の計畫を實施することになつた

一、同廟改築の意見の具申
二、學生兒童の淸掃
三、記念スタンプの作製

錦州省各縣警察官に特務事務指南

警察官吏の質的向上を期す

【錦州國通】錦州省公署警務廳では省內警察事務の內容充實を期するため各種計畫を立案して着々之が實施に當つて居るが、今回管內各縣警察官吏に對し特務事務指導の爲五日より來月中旬に亘つて特務科福岡股長始め武村、谷村、橋本各科員は各縣に出張、直接指導に當ることゝなつた、又地方滿人警長、巡官四十四名を來る十五日より廿日間錦州地方警察學校に入學せしめて司法事務に關する主要事項を敎授し、次で滿洲國警察官吏を質的に向上せしめる事となつた

米田博士等來連

大連、新京、ハルビンその他で開かれる滿鐵主催全滿夏期大學講師法學博士米田實、同法政大學阿部敎授は五日入港の扶桑丸で來連した

ハルビンにプール新設

【ハルビン支局】松花江を控えた夏の樂土ハルビンは現在に至るまでプール一つなく、加ふるに松花江の水流急であり子供連の通中は何れも一抹の不安にかられながらも猛暑には打勝てずスンガリへ涼を求めてゐるが、此の程哈鐵從

牛ペストの防疫徹底

【ハルビン支局】六月上旬以來安達滿溝等西部線方面より當市に傳播せる牛ペスト(牛疫)はその後蔓延の徵候ありしが今日に至るまで、發生數五二頭、その內斃死數三二頭(モスコー兵營北鐵燃料廠附近中心)の狀態にて當市衞生科防疫員十名は此が防疫豫防に當り

一、一般畜牛飼養者の門前、畜舍前に防疫上の注意事項玆に報告すべき場合は直に報告すべきを揭示佈告し
二、放牧禁止
三、一般畜牛に對する豫防注射の實施
四、密賣者の取締り等

此が對策着々實施中につき恐らく此以上蔓延しないものと思はる

釜山平壤兩市に自動式電話

【京城支局】京城中央電話局の自動電話改裝に次ぎ淸津の同改裝を完了した遞信局では明十二年度電信電話整備費豫算に可及的自動式改裝費を計上し鮮內主要都市の自動式電話を希望し總體的調査は終了し居れるも何分豫算に束縛されてゐる關係上地元民の要望を容れる餘地が狹められてゐるが同局では釜山、平壤兩都市の樣式變更の緊急を認め自動式に改裝すべき意向の下に兩地遞信分掌局を通じ地元關係方面と改裝に伴ふ準備接衝を開始した

濁酒消費量減少 燒酎激增

【京城支局】鮮內消費の朝鮮酒は西北鮮の燒酎に南鮮の濁酒が普遍的のものとされてゐるが近年この二大酒類間の消費爭が漸次猛烈化し燒酎の消費量が增加して濁酒が減少傾向を示して居り濁酒の釀造總數量は百六十萬石に達し居れるも製品の不均一と業者の濫立による無謀な競爭で漸次燒酎のため蠶食されつゝあり就中機械燒酎統制後は一般の需要が燒酎に代りて本年の燒酎釀造石數は五千萬石に達し濁酒より燒酎への消費轉換を示すに至つたが總督府財務局では酒稅行政の見地より愼重に對策を硏究中で過般來問題化した朝鮮酒稅制の如きもその現れとして注目の的となつてゐる

哈爾濱六月の土建前月より三倍

工事額三百六萬圓に達す

五月に入り著しく增加をみた哈市內土建諸工事は六月に入り更に激增を示してゐるが土建協會調査に依る六月中の決定工事は土木關係百七十二件工事費約二百三十二萬圓、建築關係五十九件工事費約七十四萬圓合計二百三十一件約三百六萬圓に達してゐるがこれを企業別に示せば次のごとくである(單位=圓)

企業	種別	件數	工事費
哈爾濱鐵路局	土木	八七件	九九、七七三
	建築	三六件	一七三、三四七
市公署	土木	五一	一、〇六六、四一九
	建築	二〇	二二九、七一七
國道局	土木	一六件	五〇六、〇四五
	建築	―	―
水運局	土木	七	七一、三一二
	建築	八	三三、六七五
滿洲國官廳	土木	八	五一、〇五一
	建築	七	二五、四四二
特殊工事	土木	一	五、〇〇〇
	建築	二一	六七、〇〇〇
合計	土木	一七二	二、三一九、五八九
	建築	五九	七五八、〇七九

これを五月の六十八件約八十八萬四千圓に對比すれば件數において三倍半工事費に於ても略同樣の激增振りで土建界が愈よ最盛期に入つたことを反映してゐる

滿鮮對抗相撲終る

【安東國通】第十四回滿鮮對抗相撲大會第二日は朝來快晴に惠まれファン續々とつめかけ午前八時開始、午後四十五分打出、大會の幕を閉じた、

▲團體競技
一等　撫順A組
二等　撫順B組
三等　安東A組

▲個人決勝
一等　安川(撫順)
二等　大山(撫順)
三等　植松(安東)

宮澤地方部長歸任

附屬地行政問題で上京中の滿鐵地方部長宮澤氏は五日入港の扶桑丸で歸任した

明大軍全ハルビンに勝つ

3―5

【ハルビン國通】明大對全ハルビン軍野球戰は五日午後三時三十分より馬家溝球場に於て全哈軍の先攻にて開始、明大一、二回各一點を得れば全哈も三回一舉三點を入れ同回裏明大一點を加へて同點となり六回まで兩軍得點なく接戰を續け七回裏明大更に二點を加へ、八回明大攻擊の際沛然たる豪雨のため試合繼續不可能となり五對三のコールドゲームで明大勝つ

バッテリー
全哈　保野―近藤
明大　柴田、中村―東本

大連に向ふ

【ハルビン國通】滿洲遠征中の明大野球チームは奉天、新京、ハルビン四都市に於る各チームを撫切り全勝の成績を殘し、强豪大連滿倶實業團と一戰を交ふべく六日朝九時發「あじあ」で新京通過大連に向つた

府域諸施設擴張に國庫補助要求

【京城支局】京城府十二年度豫算は甘蔗府尹の新任當初に於いて闡明せる府域擴張に伴ふ諸施設の充實整備を實現さすため第四期水道擴張を首め市區改修下水工事大貯水池の新設汚物處理その他都市計畫上の問題を巡つて相當尨大化するが差當り國庫補助は一千二百萬圓を要求することゝなつた模樣である

水運局慰安船大興丸出發

【ハルビン支局】文化の光に遠ざかり何等の慰安方法も見出し得ず、唯孜々として働いてゐる黑松沿岸の地方民、官吏待望の的たる水運局慰安船大興丸は三日午後一時打揚花火の合圖勇壯なるブラスバンドの奏樂裡に勇躍月余に亘る沿岸慰安の途についた、同船には日滿人百余名の慰安隊乘組み、殊にレビューガール四名は紅一點として人目を惹いた、同船は各寄港地に於て百貨の廉賣、施療、演劇等をなし八月二日歸哈の豫定なるよし

家庭

夏の光線と眼の衛生に就て

平素から眼の惡い人は 海よりも山へ行け

夏の強い光線は大變眼を刺戟します。常々眼を煩つてゐる人々は、海岸へ行つては不可けません、海岸は空氣も左程清くなく潮風は眼を非常に刺戟します

處か山の方は空氣はお清んで居りますし刺戟が大變少いのであります、殊に「目ぼし」のある患者や、度々「目ぼし」を起す患者は

海岸の 空氣にあたると、惡化したり再發さしたりする恐れがあります。海岸の光線には強い刺戟を與へる眼に有害な紫外線があつて、眼の病を引起し易いから眼の弱い人はこの光線よけの眼鏡（保護眼鏡）を用ひることが豫防的に必要です。この保護眼鏡にはクルークスとか理研のウルトラジン眼鏡がよいのです。次は水泳した場合の注意ですが、水泳は身體を過勞するからヴィタミン缺乏症を起し、急性夜盲症（とりめ、夜めくら）にしばしば罹ります。それ故に一般に海岸に居る間はヴィタミンの多い

滋養食 をとることが必要です

それから海水からあがつたら清水で眼を洗はないと海水の刺戟で「とりめ」になります

登山者についていへば、第一に注意すべきことは眼の屈折異狀のあるもの殊に亂視や、潛伏斜視のある人々です。これら眼疾を有するものが登山する場合にはしばしば山醉を起し、倒れることもあります。平生讀書で眼のつかれるものや、汽車や馬車に乘つて氣持ちの惡くなる人は、登山の時

一應視力の檢定をしておく必要があります。また海岸と同樣高山も紫外光線が多いから保護眼鏡によつて結膜炎や眼底の疾患を豫防せねばならない最後にプールで水泳する人達に就ての注意は、プールが

不潔て あつたりして、子供のすきな水もぐりなどをやると水濟結膜炎などを起しますから上つたら、清水で眼を洗ふことが必要であります。

鬱陶しい雨期の「洋服の常識」

色どりは鮮明に そして丈夫は心得て！

（雨の日） 街を歩いたり馬車に乘つたりなさるにはなるべく短いウールのきつちりした洋服をお召しになることです、長い絹のドレスは俥にお乘りになる時とか、訪問の時の外はお召しにならない方がよろしいでせう、雨の日の洋裝で一番重要なものはレインコートですが、レインコートには御承知のやうにクレバネット風の地質とゴム引きのものとがあります、クレバネットは地質も柔く永持ちして

（經濟的） ですが、ゴム引きの樣にキレイな色は望めません、ゴム引きの中にも厚地のものと、薄い絹の防水したものとの二種類がありますが、どれも一長一短で唯今のところ、これこそはおすゝめ出來るやうなものがないのです、レーンコートの型はラグラン（肩に袖つけの縫目のないもの）がよろしく、エリも深く立てゝ雨のふせげるものがよろしいと思ひます、帽子はコートとお揃ひの生地で、ちよつとツバのある型をお選びになつて下さい。かうしたレインコートと帽子をお召しになれば

（相常激） しい雨でも小型の傘をさすだけで十分外出が出來ます、一體雨の降る日は、強い色彩のものが美しく見えます、平常に可笑しく見える燕脂、グリーン、ブルー等の鮮やかな色は若い人には特に美しく見えるものです。

お料理獻立

スルメ料理 スルメを軟かく美味しく頂くには次のやうにして下さい。これはお酒のお肴にもお惣菜にも適します。寒ざましか、煮酒を三分の二に對し、醬油三分の一の割合に混ぜその中にスルメを四五日間漬けておいてから生燒け程度に燒いて細く裂いて頂きます一般に酒は軟く、味淋は反對に物を堅くしますから軟かくしたい時は酒を用ひ、軟かい魚等の身をしめる時には味淋を用ひますと自由自在になります。玉子味噌これは榮養がたつぷりあります。作り方は水少々を多め加減に鰹節を入れてよく煮立て味噌を入れ十分に溶きとけたらそこへ玉子をポット割つて入れさつとまぜます。玉子は煮過ぎては不味いのでかきまぜたらすぐ火を止めて蒸します。尙玉子を入れる時割つてすぐ入れると鍋の底につきませんが、一旦他の器でまぜてから入れると鍋の樣や底について始末に困ります

今日の話題

▲七日は七夕祭で曆では二十四節氣の一つたる小暑に當ります。
▲今日例祭のあるのは島根縣の國幣小社日御碕神社です。
▲訓導殉職美談の一つ…小野さつき訓導が若い女性の身で川に落ちた敎へ子を救はんとして殉職したのは大正十一年の七月七日であります。
▲滿洲事變劈頭に目覺ましい殊勳をたてて斃れた軍用犬の記念碑が神奈川縣逗子町に建てられましたのが昭和八年の同じ日でした。
▲今日が誕生日に當る人に陸奥宗光伯（天保十五年）があります。

新京中學校北滿旅行

第二日……（三年）針金 勝記

白城子へ着いたのは其れから五十分の後親切さうな驛長さんの案內で守備隊見學のため驛を出て兵營へ向ふ、此の部隊は○○部隊よりはけんされた一個大隊で此の部隊の白城子附近の百里四方の警備にあたつて居るさうだ、西は索倫までも部隊を出して居ると言ふ、かくも廣い面積治安の安易でない地をわずか一個大隊で警備して居るとは日本軍以外には出來ぬ事だらう、今さら日本軍の强さを感ずる、兵營の曹長に案內されて兵營の內を見學する、馬小屋では兵隊が馬の手入れをして居た、滿洲馬ばかりで將校の馬は日本馬ださうだ、馬の大事な轡工場又は銃工場や靴工場も見る兵隊さんは白い服きて働いて居る、見る度に感ずるのは規律正しく整頓してあることだ、炊事場では兵隊さんがエプロンをかけてきように料理をして居る、軍用鳩や軍用犬等も見る、此等の犬も鳩も匪賊討伐に非常な功を立てたさうだ、其の後大隊長から白城子附近の情況について話が有つた此の白城子は新京からの京白線、白城子から南共安に至る白溫線の集點で此等の鐵道は將來滿洲里に至りもとの東支線と平行線と成り露國と相對して滿洲中部を橫斷する國際幹線を敷設しやうとした

◇……◇

此の計畫は滿洲事變後から行はれ、此れによつて露國は非常に氣をやみ將來東支線の無益を考へ、ついに露國の東西侵略の足場とも言ふべき東支線を手からはなしてしまつた、何と言ふ愉快な事であらうか、此の鐵道の敷設は滿洲國發展と北滿鐵道を促進せしめ、西部の要地となる、此の白城子は益々交通上軍事上の使命は重くなるであらう、大隊長の話はだんだんと熱をおび、我々も話にひきつけられて行く。

辨當を食べ午後零時半の汽車でチチハルに向つて出發、汽車は又も無限の廣野を我々のせて走る、何所まで續くか知らぬ草原、我等を樂しませるものは此の草原に爛漫と咲きにほふ草花だ、物ずきな者は、汽車が停車するごとに花を取りに行き汽車が出そうになつて靑くなつて歸つて來る『雉子だだ』と大聲をあげて叫ぶ者、皆面白く車外を眺めて居る、兎が汽車の音に驚ろいて走つて行くのや放牧された小馬等がはね廻つて居るのが目につく。

◇……◇

やがて汽車は江橋附近に着く此の附近は滿洲事變で有名だ、江橋の戰ひは昭和七年十一月濱本部隊と馬占山の軍が衝突した場所である吉田教官は此の戰爭に加はられたので當時の事をなつかしげに追憶しながら話して下さつた、相當の激戰だつたと見へて小さい石碑が點々と建つて居る、戰死された勇士の靈を車中より、なぐさめながら通過した汽車は午後七時半眞赤な夕暮の日を浴びながらチヽハルのプラツトホームにすべりこんだ

けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）七日（火曜日）

朝

六・〇〇 建國體操
六・二〇 ラヂオ體操（東京）
六・四〇 中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
七・〇〇 中等日本語講座（奉天）講師 近藤喜助
七・二〇 氣象通報（大連）
引續き 朝の音樂（大連）
八・三〇 經濟市況（東京）
九・〇〇 早慶演奏
九・三〇 料理獻立
九・四〇 經濟市況（大連）
一〇・〇〇 家庭講座（奉天）七夕の話 近藤喜助
一〇・二五 家庭メモ
一〇・三五 經濟市況（大連）
一〇・四〇 經濟市況（東京）
一〇・五九 時報（東京）
一一・四〇 ニュース（東京引續き新京）

晝

〇・〇一 經濟市況（大連引續き新京）
〇・二〇 晝の演藝（レコード）
〇・四〇 建國體操
一・〇〇 白大鼓（奉天）一、歪講三字經 二、地理圖 醒聲 李永春
一・二〇 ニュース（滿語）
一・三〇 成人講座（滿語）人口問題（一）楊松亭
一・五〇 下午演奏（大連）
二・〇〇 經濟市況（大連）
二・五〇 日用品値段（滿語）
引續き 經濟市況（東京）
三・〇〇 ニュース（東京引續き新京）
三・三〇 經濟市況（大連引續き新京）
四・〇〇 野球試合實況＝新京西公園野球場より中繼＝電々對奉天滿倶
野球なき場合は左を追加す
四・三〇 ニュース・演藝（鮮語）
四・五〇 ニュース（英語）
五・〇〇 子供の時間（奉天）
五・二〇 コドモの新聞（東京）

夜

引續き 氣象通報・番組豫告（野球なき場合は時刻を後五、二五に變更）
六・〇〇 ニュース（東京）
六・二〇 今晩の番組・官廳公示
六・二五 政府公報（新語）
六・三〇 國民の時間（奉天）婦女問題 滿洲國協和會奉天辦事處 張維闕
六・五八 俚謠（仙台）一、機織唄 福島縣伊達郡川俣町女子靑年團員（大阪）二、安樂川神舞踊 和哥山縣那貞郡安樂川村有志（廣島）三、田植唄 紙漉唄 愛媛縣川之江町女子靑年團員（福岡）四、茶摘唄 福岡縣八女郡矢部村女子靑年團員
七・一八 名所案內（東京）海と空と陸
七・四三 七夕小町踊（京都）京都祇園美磨會
七・五三 ラヂオ聯曲（東京）七夕祭
八・三〇 時報・ニュース（東京）
引續き ニュース
八・四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
九・〇〇 舊劇（奉天）宇宙鋒 新亞集團戲劇部
一〇・〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

ゆかしい 七夕祭り 牽牛織女の戀物語

靑竹の枝々に短册色紙をつるして、歌がよくよめるやうに、手習ひが上手になるやうに、お裁縫がよく出來る樣に——と願ふ乙女の優にやさしい星のおまつり「七夕」はもう三千年の昔から支那に始まつたものだといひます。七月七日といつても舊曆ですから今のこよみでいへば八月の半ば、外へ出ると頭の眞上に乳を流した樣なほの白い一條の帶、天の河のかゝつてゐるのが目につきます。

◇……◇

その河をへだて、美しくまたゝいてゐる二つの星、織女（琴座のアルファー）と牽牛（鷲座のアルファー）とかうした自然の美しい天體をあふぎ眺めてゐる彼等はいつかこの星を一の天帝の姬とし、一つはその戀人美しい若者とした優しい戀物語りはもう誰方も御存知の筈です。しかし望遠鏡で見た牽牛の實際の姿は、地球よりまだ大きく、織女はまたもう一まはりも大きいのです。しかも牽牛は一萬度織女は一萬一千度といふ熱をもつて燃えてゐるのです

◇……◇

二人の間の距離はといつたら大體十六光年といふ遠いところ——これからあなたのところへ行きますよ——と牽牛が合圖しても、十六年後でなければ織女に通じないといふはなれたところです。次に天の河とは？これは望遠鏡で見るとたゞベタ一面の星ですが、牽牛や織女のところからはまたうんと遠いところにあるので、肉眼にはあのたゞほの白い流れに見えるのです。

◇×◇

ラヂオ聯曲で「七夕」氣分を滿喫！

朗讀・清元・箏曲・オペラ

後七・五三 東京より

（解說）今晩は年に一度の天上の祭「七夕祭」である。—このラヂオ聯曲は朗讀と和樂、洋樂を組合せて所謂「七夕」氣分を滿喫しようといふのである。まづ最初に小泉八雲作「天の河緣起」の一節を朗讀する。これを序曲として清元の「日月星晝夜の織分」の淨るりで、天上の戀、牽牛と織女がたまたまの逢ふ瀨の言葉をかはし、逢ふて忽ち別れる悲しみを物語ると、次は箏曲で寂しく「七夕」の物語をのべる。清元は明るく派手な曲に對照して箏曲の靜寂をあらはし、最後は十分間オペラで、天上と地上の朗詠や歌をうたつたもので、この聯曲を終ることになつてゐる。

朗讀 天の河緣起　村瀨幸子

七月七日の日に古風な田舍町を通ると此處に浪漫的なタナバタの星祭が行はれてゐる。伐りたての竹へ、色樣々の紙片をつけて、それにタナバタとヒコボシを讃へた歌が書かれてある、この古いお祭りの緣起は支那の傳說—太奈八太豆女といふ愛らしい娘が一人の牛ひく農夫の男と戀をし、その結果天帝への義務をおろそかにし、二人は別々にされ七月七日の晚だけ年に一度、天の河を越えて相會ふことを許されてゐるといふはなし。

◇……◇

これもタナバタサマのお話—一人の美くしい女が出雲の山の中のある農夫の住家を訪れてきてその家の娘に人の知らない機織の技を敎へたといふ話、また曾て一人の男が天つ御國を訪れたといふ支那物語その男が一艘の船に乘つて幾日も幾日もの航海を續けてある島へ着き、そこで一人の美しい機織姬に會ふ冒險物語。

清元 日月星晝夜織分　木川文子

前彈平家ガヽリ合「夫（合）銀漢と詩に（合）聯らぬる五言七言の（合）硬い言葉を柔らぐる、三十一文字の大和歌へ深くも願ふ女夫星「その逢瀨さへ一とせに（合）今宵一夜の（合）契り故 合「まだ（合）明星の影薄き 合「暮れぬうちよりおりひめが（合）待てば 合「待たるゝ牽牛も（合）牛の歩みの（合）もどかしく（合）心は先きへ行き合の「八重の雲路を（合）辿り來る 合「それと見るより鵲の（合）飛び立つ思ひ、押しづめ 詞合「なつかしや我夫樣、お變りとてもあらざりしか 詞「アゝ思へば年に只一度、此七夕に逢ふのみにて 詞「雁の便りもなき身の上 合詞「懷かしさは如何ばかり 合詞「取り分け去年は雨降りて 合詞「そもじに逢ふも三年越し 合「然かも續きし長雨に（合）八十の河原も水增して（合）つまこし船に（合）棹させど（合）「とわたるよすが（合）明近く、長鳴鳥に短夜を 合「思へば憂しと引く綱も カン合「後へ牽かるゝ後朝に（合）つれなき別れも昨日と過ぎ 合「今日は雨氣も中空に（合）心も晴れて雲の帶 合「織女は更けゆく小夜風に（合）名殘りを惜しむかこち言「中を隔てて流星か（合）これはどうした文句やら、口說はさゝら、さらりつと、箒星にて、掃き出だし、西へ飛ばうか（合）東へ飛ぼか（合）どちらへ行かうぞ思案橋「はやおさらば、虛空はるかに失せにけり

箏曲 七夕　相原茂二

萬代の秋ごとに君ぞ見るべき七夕の、契りは久しゆきあひの、夕の雲の上にて九重の庭に咲く香りみちぬる菊の香に、ちとせの秋をかさねなん、君がよはいぞしるべし

おさまれる御代のしづけさはなほ幾千代と聞ゆなる、こや松蟲の音に立てゝ、よばう聲にやあるらん

オペラ 十分間 二つの七夕　岡田八千代作　清瀨保二作曲

七夕の宵、晴れた空には天の川が美くしく懸つてゐる。彥星と織姬の樂しい逢ふ瀨、織姬の織るをきの音に和して靜かな合唱が天上から響いてくる。地上では一組の夫婦が空を見上げながら結婚記念日である此宵を讃へて語り合ひ、妻は織姬に因んで着物を縫つてゐる。急に天の川に風が吹き波が立ち騷ぎ一つ又一つ星は雲にのまれて行つた。天上からも地上からも早く波風が收まる樣に祈る。やがて雲が晴れた。風は納まつた。星は燦めいた。天の川原の川船も帆綱が解かれたらしい。天上と地上との合唱は相和して透き通る樣に遙か彼方に流れて行く。

京都よりは七夕小町踊り　祇園美磨會

【後七・四三京都から】小町踊は小町女即ち京洛の未婚の少女達の踊りで七月六日から七日の夜にかけて踊るもので正保年間から既にあつた樣であります。踊子は大體七人を一組として個々に踊り囃すものであります。服裝は縮珍の着物に緋繻子の下着毛瑠の帶に紫縮緬の抱帶、紫の足袋に尻切緞子の鉢卷、綾繻子の襷をかけ、髮は若衆髷の樣な結び方で誠に優雅を極めたものであります。孰れも鶴龜を描いた日傘をさし（或は花傘を冠つてゐるものもあります）金の太鼓に塗撥を持ち唄を歌ひながら太鼓を叩き、地方に三味線を彈かせながら所在を踊り歩く姿は誠に可憐な而も優美なものであります。此の踊は七夕を祭ると謂はれて居りますが又一つには是に奉仕する音樂や踊りが上達するといふ優しい乙女心の祈りからであると謂はれてゐます。

海、空、陸の"名所案內"

▽……後七時十八分東京より

東京灣汽船株式會社橘丸事務長　小林治郎
東京航空株式會社エア・ガール　小野田陽子　清水文子
富士山麓電氣鐵道株式會社バスガール　浦邊光子　白須なみ子

音樂、船のドラ・汽笛など鳴つて船の出帆する感じ、夜の靈岸島を出て一路大島へ向ふのである、遠く灯の燦めく帝都を後に……飛行機の爆音など聞え、船の中は朝の飛行場に變る。羽田の海を去つて伊豆下田へ向ふ飛行機の旅である。

橫濱の棧橋や港を眼の下に見ると、もう間もなく江の島、それから辻堂、大磯の海岸である。右手には大山が見える。そして忽ち正面に姿をあらはしてくる美しくも雄大なる富士の姿！その廣大なる裾野には點々と散在する五湖。林の中や峠を通つて行く自動車。音樂とともにエンヂンの音などして樂しい自動車の旅に變る。御殿場から出發して籠坂峠を越え朗らかな小鳥の啼き聲など聞いて山中湖へ至る、それから目の覺めるやうな夏の林と森と野を過ぎ富士吉田に至る。再び涼しい空の旅に移る。湯の町の上空を通り伊豆天城山を眼の下に見ながら機體は今千米突の上空を行く左手の方遠く大島の御神火が見られ仄かな煙をはく遊覽船が、畫のやうに眺められる。すると

再び船の中の朝である。今しも船は島の港に入つたところである。これから大島の［illegible］をする。

一方飛行機はもう下田が遠く見られる所まで來た。やがて下田港に着くのである

東京灣を目指して大島から急ぐ船の中である。遙か伊豆箱根の山々を水平線上高く見る。更に遠く雄大なる富士の靈峰。なだらかな裾野エンヂンの音して自動車の中に變ると裾野河口湖を出た自動車は西湖、本栖湖精進湖を見物し靑海原の樣な樹海を通つて、大宮の町へ急ぐ。

船はもう東京灣を入り羽田沖を通過靈岸島へ歸る、かうして空と海と陸とで樂しい立體的な夏の方を續けます。

學藝

中國の文藝工作者宣言

川内尭

さきに筆者は「支那の文藝論を覗く」の一文に於いて、いはゆる「國防文學」についての一つの主張を紹介して置いた。

その後、これら一群の作家たちが「ペンによる民族運動」をスローガンに自ら文藝十字軍を名乘つて中國文藝作家協會を組織したことは消息欄に掲載された通りであつた。

×

ところで、前記の協會とは別に、それとは對抗的に、今度「文藝工作者宣言」といふのが上海を中心とする多數の作家たちによつて發表されたのである。それは、文學を國民黨の埒內に縛りつけやうとする「國防派」に反對して、文學の自由、その本來の世界に引き戾さうとするもののやうである。「宣言」に聽こう

×

「中國は昨日から俄かに强隣に壓迫され侵略され始めたものではない、我が民族の危機は斷じて一朝一夕に造成されたものではない。我等の眼前に展開してゐるこの大崩壞の脅威はその遠因と近因を持つて居り、その發展の路徑を持つてゐる、我々文藝上の工作者は、眼光は從來現實を離れてゐず、工作は民族の自由を鬪ひ取る奮鬪を緩めて來てはゐない。我々は決して今日初めて救亡圖存の重要さを發見したものではない。故に現在に於いては、民族の危機が最後的な境ひ目に達してゐる時に一つの殘酷な魔手は我らの咽喉をしめつけ、一つの窒息させるやうな暗夜がわれらの頭上を壓し、一種偉大悲壯な抗戰はわれらの面前に展開してゐるが、われらは絕對に屈服せず、絕對に畏懼せず、猶豫せず、まさに各自固有の立場を保持しわれらの從來かたく持てる信仰に基づき、過去のコースに沿ひわれらの文藝に從事して來、はやくより開始されてゐる民族の自由を鬪ひとる工作を緊張せしめるものである、現實を疏かにし、それから離れずさらに嚴密にそれを把握せんとするものである」云々

×

署名者には魯迅、巴金、曹禺、蔣牧良、方光タウ、キシ以、大戈、魯彥、方之中、辛人、周彥、黎烈文、蕭軍、周文等々の名が見出される。

新京よいとこ

（晋頭唄）　堀越政治

一、ハー響く鐘の音、大陸列車、よ　空にや飛行機、東の國へ　燃ゆる思を、ホイソレ、乘せて行く。新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

二、ハー男なりやこそ、笑ふて散つた、よ　國の華かよ、忠靈塔は　赤い夕陽に、ホイソレ、映えて立つ。新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

三、ハー花は鈴蘭、都のかほり、よ　新京乙女の、日傘がゆれて　風もうれしい、ホイソレ　香を運ぶ　新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

四、ハー戀の三馬路、胡弓にくれて、よ　倖な相乘り灯もチラ／＼と　幌にかくれて、ホイソレ　投島田。新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

五、ハー風に散る／＼、柳の絮が、よ

廣場／＼は、青々と　ロシヤ娘の、ホイソレ、ハイヒール。新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

六、ハージャズが渦卷きや、ネオンは燃える、よ　赤い唇、ドレスは光る、踊りませうよ、ホイソレ　夜明けまで。新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

七、ハー新京銀座の、ネオンの海で、よ　めぐり逢ふたは、別れたお人、なんで昔が、ホイソレ、忘らりよか。新京よいとこ、ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

八、ハー一度おいでよ、住みよい都、よ　雪は降つても、ペチカのそばは、故郷の話に、ホイソレ花が咲く。新京よいとこ　ほんによいとこ、ヨイトコホイ。

信心銘（四十三）

鹽谷壽石

文曰「愼勿追尋」

爆擊機

溫室文學論　―サラリーマン萬歳?―

「滿洲文學と云ふものを檢討されるには在滿邦人はサラリーマンイデオロギーであるといふ基本的なものから出發しなければならないと思ひます、そしてその上に移民的な生活をしてゐるとか、民族的感情の接觸を澤山持つてゐるとか同じサラリーマンでもこちらの方が內地より經濟的に豐かでせう、そう云ふ特殊なものから築き上げられて來て滿洲文學と云ふものが生れて來るんだと思ひます」

これは古川哲次郞氏が「滿蒙評論」の座談會で述べてゐる言葉である。これに追隨して吉野治夫氏は「だから滿洲を書かうと思つたら俗なものを書くと言つたやうな自然そこに行くのじやないかと思ひます」といひ、古川氏更に「結局そう云ふものが花開くのじやないでせうか、そう云ふものが滿洲文學と云ふものになるのじやないでせうか〃赤上〃とか〃アカシヤ〃と云ふ樣な」と云つてゐる。吉野氏さらに「〃乾燥〃とかね」といひ、古川氏「〃娘々祭〃とか」といつて、横澤宏氏「民謠になつてしまうね」と笑つてゐるなごやかな風景だ。

×

古川氏の言ひ分は判る。これまでの多くの作品を見て來ては、そのやうに言はざるを得ないかも知れぬ。しかし「移民的生活」とか「民族的接觸」とだけでは、いかにもサラリーマン的溫室趣味か高溫で、呼吸苦しいではないか。アンドレ・マルロオでも連れて來たら何と言ふであらうか。滿洲文學を强ひて溫室で育てやうとするやうな言ひ方には反對である（北方野人）

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△電々（七月號）馬淵俊一氏の「電々大家族主義を提唱す」を卷頭に、山內靜夫氏「生活」は味はひ深く、社員論壇、宮川靖々生「放送斷想」時吉生「異國見聞錄」今井一郎「娘々詣り」永野善七「黑河に於ける日蝕觀測隊の活動」等多方面に亘つての編輯振り（新京大同大街六〇一、電々倶樂部、二十錢）

△滿蒙評論（七月號）隨筆に滿平生「瘦地に芽ぐむ」北條秀一「支那の川」等がある、尙孝介「承德の沿岸とラマ廟」が目立つ記事、吉村貞司「新興滿洲文學のために」は別に創作とてはないが親切な評語である、大和尙山人「大連總スケッチ列傳」は相當辛辣である、在連諸家の出席した滿洲の文藝を語る座談會、思ひ出や現狀、將來の方向などがまじめに語られてゐるこの號では創作のないのがやはりさびしい（大連市榮町二、滿蒙評論社　五十錢）

△綠十字（第十三號）遠藤繁淸「結核豫防事業の財源」村川五郎「朝鮮の結核豫防施設」濟聽平「女の母へ」等（大連市外小平島保養院內、綠十字會、二錢）

△大連市に於ける營業分布に關する調査　大連市の有する各種營業の地理的分布を調査し全市に於ける日滿各國人の國籍別竝地域別聚落の諸相を記錄し商工都市大連の全貌を知ることとしたもの、この調査には大連商業學校の上級生諸君參加した由人口數と營業數との對比、全市に於ける營業の種類、全市に於ける營業の構成狀態、大連市內主要商店街の考察等の諸節にわかれて記述されてゐる（大連商工會議所）

△實業之朝鮮（七月號）鎌田白堂「朝鮮郵船會社展望」「產業黃海道を裸にする」岸惟孝「新興滿洲國に於ける銀の過去現在及び將來」松山高長「京南鐵道會社の過去及び現在將來」新刊紹介、新聞硏究欄、土木建築論等（京城府本町五千六、實業之朝鮮社、五十錢）

△昭和十年國勢調査中間報告　世帶及人口　四六倍判　三十九頁、樺太の人口、世帶數の變化を見るべき資料（樺太廳）

官場現形記（95）

李寶嘉作　大內隆雄譯

―第八回の十三―

次の日の十時になり、魏翩似は同慶里に行き、顏を洗ひ點心を食つて陶子堯を起し、一緒に五科を訪ねて行つた。新嫂々は寢亂れ髮で、靴下も穿いてゐなかつたが、どうしても自分で陶子堯のべん髮を結つてやるといつて肯かず。それが濟んで彼を放した。

それから二人は一緒に洋行に行つた。仇五科が迎へ、應待殷勤である。椅子を奬めてから、兩人に呂宋煙草を出した。拔出しから書類を取り出したのを見ると、合計二萬二千兩の金額になつてゐる。署名して半金を支拂つた。又契約書を讀んで聞かせた。陶子堯はその西洋文が判らない、讀んで貰つて、別に間違ひもないので言ふべきこともなくただ魏翩似に訊いたのだつた「この勘定書はこういふ風に書くとして、昨日あなたに頼んだことはどうなりましたかな？」

魏翩似は仇五科にそれを問ふた。仇五科は「これは陶さんとわたしの方の店の主人との間の契約ですから將來代金を支拂つてしまつたらまた新しく書き直すんですよ」と說明したので、陶子堯はやつと安心した。

仇五科はそれから彼を引つ張つて行き店の主人に會はせた主人はペラペラと西洋の言葉で話した。陶子堯は判らない仇五科が又それを飜譯して聞かせた。ただ普通の應酬の言葉であつた。面前で署名をした魏翩似が後から金を取つて來る事とした。陶子堯は考へた。

「錢莊には一萬四千ばかし預けてあるばかりだ、いま一萬一千兩取り出すと、あとには三千餘兩殘るだけだ、あとで機械が上海に來れば、又一萬一千兩こさへねばならん。今の所大いに足らんわけだが、幸ひ出發前に、撫台大人がさう言はれてた、若し不足ならいつでも電報を寄越せ、と」

そこで錢莊に行つて一枚の銀票を書き、それから店の者に頼んで、理由を說明し更に一萬五千兩を出すやう電報を打つて貰つた。店にゐる知合ひは電文を書いてくれ彼はそれに目を通した、別にこれといふことも無かつた。

二人は辭して外に出てから仇五科の所に行き、渡すものを渡し、その契約書を一枚持つてかへつた。その日やはり同慶里に行つて食卓を設けた仇五科と魏翩似が手傳つて哭れたわけだから、その二人を上座に坐らせた。

まさに光陰は箭の如く日月は梭の如しである。あの日、店から電報を打つた時から勘定して、遲くも三日以內には返事が來るべきであるのに今ではもう七、八日になつてゐるのである。ところが、彼は毎日毎日新嫂々に迷ひこんでゐたのでそれに氣付かなかつた。指折り數へて見て、慌てざるを得なかつた自分の仕事といふ點からは何も苦情の出る筈が無い、たぶん撫台が公事大いに忙しく、一時氣が付かずにゐるといふ事ならあり得る、だがそれにしても放つて置いて返事もしないといふことはない筈だ。斯う考へると、彼の心には恰かも十五もの吊桶があつて上下とびはねてゐるやうな思ひであつた。幸ひ新嫂々は仲々口達者な女であり、何やかやとやつてゐて日を過してゐた。（つゞく）

家庭醫學

油斷の出來ない潛伏性脚氣

過激な運動、勞働の後突然衝心を起す事がある

普通、脚氣の症狀と云ひますと全身に倦怠感を覺へるとか、手足に浮腫がきてしびれ、少しの動作にも脚の動悸が激しくなつてくると云つた樣なことが主ですが、斯うした症狀がそれほど著るしくなく周圍の者は元より、本人もそれと氣がつかないでも、何時の間にか脚氣に罹つてゐることが珍らしくありません。之を學問上、潛伏性脚氣、或ひは脚氣豫備症と呼んで居りますが斯うした患者は案外多數で、殊に

梅雨時から眞夏

にかけて、急激に增加します。潛伏性脚氣の最も恐ろしいことは、症狀が判然しないために運動や、勞働に無理を重ね、それがために知らず／＼に病症を增惡させて、急に衝心の危險に瀕することです。

たとへば過激な仕事をしたり、また水泳、登山、ランニングをして疲勞した場合、俄に氣分が惡くなり、心臟の鼓動が激しく手足や口唇が紫色になり、脈が細く、呼吸困難を起して倒れると云つた樣な例はよくあることで、これから夏のスポーツシーズンを迎へて大いに活躍しやうとされる方で、多少とも前記の疑ひある場合は一應醫師の診斷を受け

適當な手當を

施すべきであります。その方法として擧げられることは、先づビタミンBの補給です。ビタミンBの缺乏が脚氣症の重大な原因をなしてゐると云ふことは既に一般人の常識となつて居りますが、元來ビタミンBは體內の新陳代謝作用を圓滑に行はしめる大切な要素ですから、新陳代謝の旺盛な運動家や勞動者、姙產婦等にこれが不足し易いといふことは當然であつて、之等の人に脚氣の多いといふ事實は、このビタミン說を裏書きするものであります。

それで脚氣と云へば、ビタミンBを補給する療法が一般に行はれてゐる譯ですが、玆に一つの問題は、脚氣はビタミンBの缺乏が主因ではあるが、まだ外に或未知の因子が加はつてゐると考へられることで、從つてビタミンBのみに賴らず、他に脚氣の治療を助ける方法を講ずることが必要であります。近來脚氣の豫防や治療に、

ビタミンB以外にも

胃腸や諸臟器の機能を强める成分を含んで若素（わかもと）の服用が大變推奬されて居るのは、この理由によるのであります。

この藥の主成たる活性ヘーフェ菌のビタミンB含有量は、生物中隨一の豐富さと云はれる程で、ビタミンB補給の點からしても大きな價値を有するものでありますが、なほその上、胃腸を强めて消化吸收を活潑にさせる酵素や、人體に必須の榮養素を、綜合的に含有して居ります。

從つて若素（わかもと）を服用すれば、これらの成分の綜合作用によつて、脚氣自體の症狀が輕快すると同時に、それに伴ふ胃腸や神經の障碍も除かれる譯で、僅一日に數錢といふ藥價の低廉さと相俟つて、至極簡便な治療法として各家庭に賞用されて居ります。

七月の育兒　體質の弱い子供

溫度が高くて、濕氣の多いこの頃の氣候は、消化器を弱め、體力を不活潑にし、抵抗力を衰へさせます。かういふ氣候の影響は、小さい子供ほど受け易いのは當然であります。

だからと云つて、たゞ大切に大切にと、かばつて許りゐると愈々體質を弱めますから、むしろ此頃の氣候を逆に利用して、幼兒の身體を鍛錬するやうに圖らねばなりません。

それには出來るだけ、空氣が淸く、日當りのよい所で遊ばせて、外部からの抵抗力を强めると同時に若素（わかもと）の樣な胃腸を强め、榮養を充實する效果のある藥劑を與へて、內部からの抵抗を造ることも必要です。

神經衰弱病者にお奬めしたい榮養療法

神經衰弱は文明病と云はれてゐる位で、時代と共に增加しつゝあり、原因も多方面に亙つてゐますが、主なるものは心身の過勞であります。試驗時の過度の勉强や就職難、家事に就いての心勞が重なり、神經衰弱に犯される等はこの一例で、また胃腸、結核その他の慢性病に伴ふ不安、焦躁が原因となつて起る事も少くありません。

（寫眞說明）初めて神經病理說を主張した英國のウイリアム・カアレン（171[illegible]―1790）

この病氣にかゝりますと、ちよつとした事でも非常に氣になる。物事に倦き易い、注意が散漫になつて記憶力が鈍り、また絕へず不安

焦躁

に驅られる等の神經的な障碍に惱む一方、肉體的にも食慾不振、疲れ易い、頭痛、眩暈がして肩がこる、安眠が出來ないといふやうな雜多な症狀にさいなまされるのが常です。

從つて斯うした症狀が永びけば永びく程、患者は一層病氣に對して不安を感じ、神經質になつてゆくもので、手當としても、一時的にもしろ、苦痛の除かれる催眠劑や鎭靜劑に賴らうとあせるものです。

催眠劑や鎭靜劑が必ずしも惡いとは申されませんが、それも程度の問題で、これを連用してゐますと中毒症狀を起して來ます。

一體神經衰弱患者は、神經衰弱をたゞ神經だけの病氣と考へて、その方にのみ働く藥を服みたがりますが、むしろそんなに直接の效果をねらふよりも、遠まはりの樣でも身體全體の强壯、殊に

胃腸

を活潑にして、榮養を昂めることによつて、却て、大きな效果を擧げることが屢々であります。

しかし普通の胃腸藥や榮養劑では、胃腸も神經障碍の影響を受けてゐるので、效果の擧りにくい點があります。割合にその缺點のないのは、近頃胃腸藥として知られてゐる若素（わかもと）であります。

それはこの藥が、普通の胃腸藥や强壯劑のやうに、化學的の合成劑でなく、ヘーフェ菌といふ特殊の藥用菌の自然の活性を利用したもので、その中心となつてゐるのは所謂細胞賦活作用であつて、十數種の活性酵素は、障碍を起してゐる組織細胞に働きかけて、これを再生せしめ、特に胃腸機能を强化して、榮養を充實する效果が顯著ですから、神經衰弱を助長する種々の原因を除くことが出來るわけです。

なほその他にも直接神經衰弱に效果ある成分として、優秀な强神經の

榮養

素たる「レクレイン」、レシチン、ビタミンB、D等が豐富に含まれてゐて、頭腦の過勞を防ぎ、有害物質を分解して神經の障碍を除きますから、如上の樣な各種成分の綜合效果によつて體質も强化され、腦神經も養はれて神經衰弱も除々に恢復に向つて來るのであります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門內際、わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢（小兒には二三錢）の廉價で發賣されてゐます。尙、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります。

療養實話

永年の胃腸病と脚氣が輕快

（東京）太田義造

（前略）現在小生は、表記の店に勤めの身ですが、一日中家の中に在つての仕事のため、自然運動不足、これに伴つて胃腸が年中惡く、下痢が續き、夏から秋にかけて脚氣が起るのは小生の常でした。

仕事をしても頭が重く、食慾も進まず、人生も、味氣のない生活でした。その間には醫者にもかゝり、賣藥は種々求めて服用した（中略）昨年の九月中旬のこと、××新聞にて「錠劑わかもと」の廣告を拜見いたしました。廣告の文面をよく讀んでゐる中に「これだ」と、早速近所の藥局にて買求めて服用致しました。

（中略）その中氣分がすぐれる、食慾が進むといふ具合にて脚氣もそのうち跡を絕ち、勿論便通は順調―やつぱり「錠劑わかもと」のお蔭樣だと確信致しました「錠劑わかもと」にて自信を得た小生は、早速國元の兩親に「錠劑わかもと」と、新聞の切拔きと、小生の體驗談を書き添へて送りました（申し遲れましたが兩親もやつぱり胃腸が惡いので）。ところがそのうち懷かしい故郷からの便りにて、開いてみれば文面は「錠劑わかもと」の事ばかり、勿論小生と同樣の喜びを得たのです。（後略）

醸造元　櫻屋酒類株式會社

醸造元　嘉納酒造株式會社

醸造元　千代乃春合名會社

醸造元　中野鳳凰酒造場

醸造元　嘉納合名會社

天然 甘味 優良葡萄酒
赤玉ポートワイン

一本で

淺くなれ

味(あぢ)の素(もと)

特小瓶一個宛

贈呈

尚抽籤で左記大景品が當る！

● 期間・發表當日より昭和十一年八月末日迄

1等 姿見鏡台（一台宛）

又は下記の内お好みの一品

- 座敷用机……………一台宛
- 八端座蒲團五帖組……一組宛
- 純毛二枚續毛布………一枚宛

（當籤數一千口）

2等 家庭用自働秤（一台宛）

又は下記の内お好みの一品

- 洋食器……スプーン・ナイフ・フオーク三客分宛
- 家庭用常備救急箱（各種藥詰合せ）……一箱宛

（當籤數二千口）

3等 デッキチェア（一脚宛）

又は下記の内お好みの一品

- 家庭用大工道具セット…（六品入）一組宛
- ハイキングセット………（三品入）一組宛

（當籤數五千口）

4等 電氣アイロン（一個宛）

又は下記の内お好みの一品

- 割烹着………………一着宛
- 番茶器………………一揃宛

（當籤數一万五千口）

應募方法

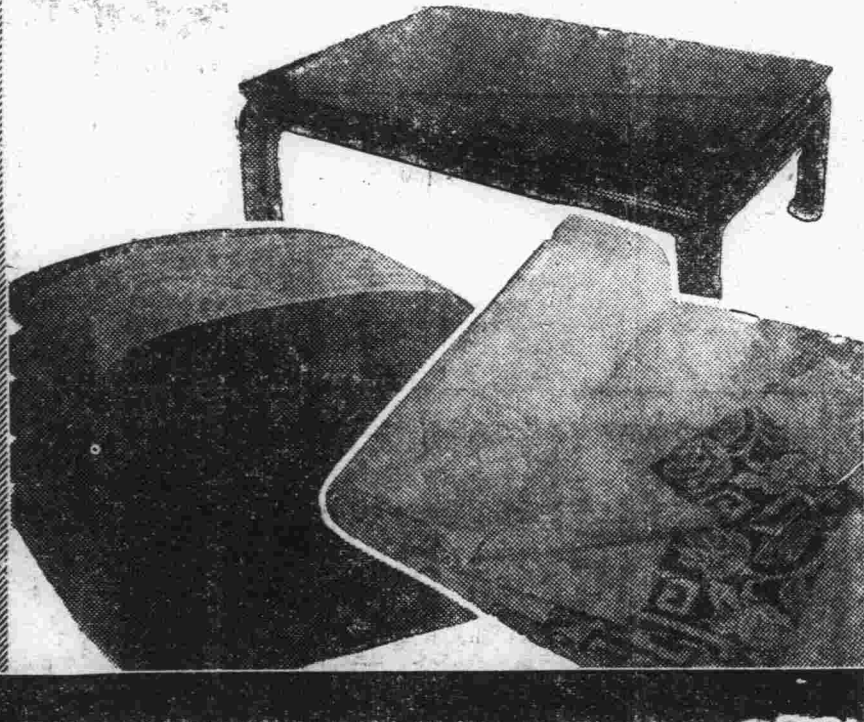
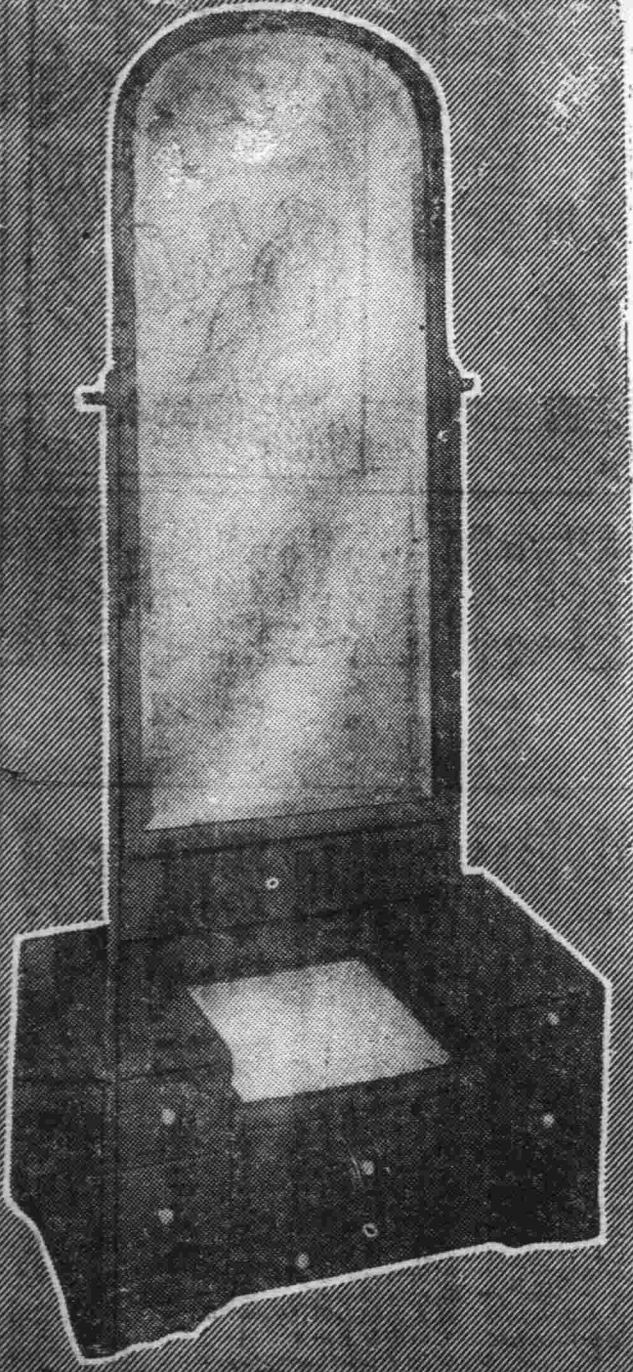
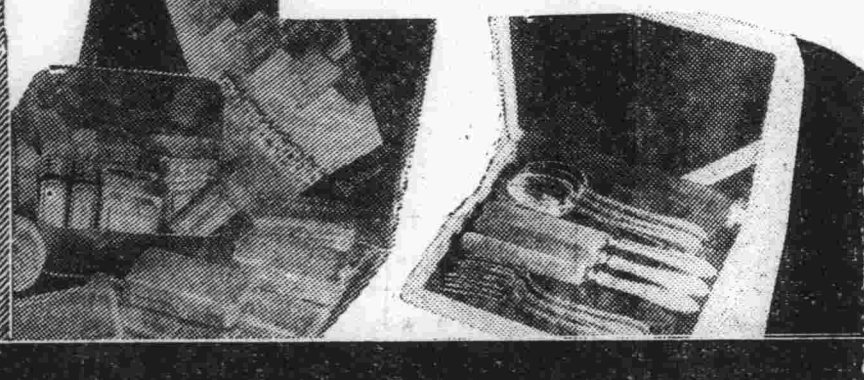
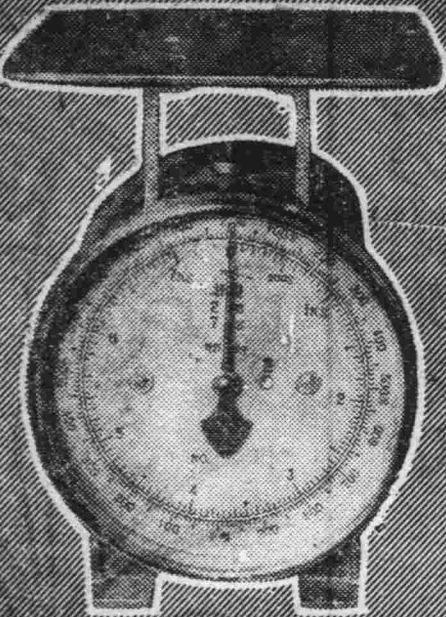
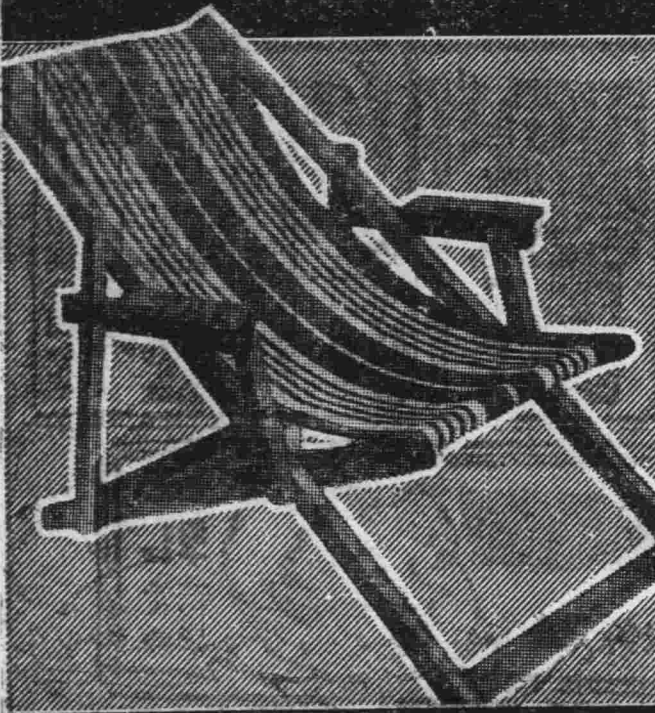
赤玉ポートワインの包紙のレッテル一枚と口金掩（錫製・左圖に示せるもの）の上部一個とを一纏めとしレッテルの裏に住所姓名明記の上 大阪市東區住吉町五二・壽屋サービス係へお送りあれ抽籤券と味の素とを送呈します●御郵送は封書にて四匁毎に三錢切手貼附の事・郵税不足のものは受附けません

● 抽籤方法 一口（レッテル一枚と口金掩一個）毎に抽籤券一枚呈上 一千口一組 總數百萬口 當籤番号各組共通 新聞 警察 代理店立會 昭和十一年九月十五日嚴正抽籤 ● 當籤發表 同年十月一日頃全國新聞紙上及び當籤者へ直接通知 ● 景品發付 發表後二ケ月以内

この口金掩（錫製）の上部一個とレッテル一枚で一口

これではありません

―口金掩―

送り先　大阪市東區住吉町五二 壽屋サービス係　レッテル及び キャプセル

けふは七夕祭

牽牛、織女の床しいロマンス

その行事及び由來

年中行事の一つ七夕祭は七日の夜行はれる—天の川の西岸にある織女星(琴座のアルファー)と東岸にある牽牛星(鷲座のアルファー)とが一年に一度相逢ふといふので下界の人々が二星に種々の供物を捧げて願ひごとをする行事である、祭の思想は支那から日本に傳來したもので支那の起原は約三千年前の周初の頃から行はれたその頃の七月七日陰暦の宵二星は當時の人達の丁度眞上に來た天地自然を崇拜した原始時代の東洋人は銀河に對して壯大な感想を起したこと、共に東洋的な思想から人間の運命を星の支配下に結びつけ祈願の儀式を構成し特に

二星に就て物語りを作製した、即ち陰暦七月七日の夕上弦の月が天の川の下流にかゝる頃たまく琴座の東を流れる白鳥座のアルファーあたりに飛び來つた鵲を以て橋とし二星をして相聚會せしむることゝしたのが今日傳統の七夕物語りである、日本では二星がかくて一年にたつた一度相逢ふ戀を祝福する意味から轉じて平安朝時代からその祭の夜若い人達は思ふことを梶の葉に書いて捧げると思ふことが叶ふといふ思想を構成これがづつと江戸時代に傳つて〃庭を清め茅萱の葉を敷いて瓜なすびをかたむけうつは物に水を入れて星の影を寫して拜むなり竹を七尺に切りて左右に立てその場に糸を

七筋づつかけるなりこれを願ひの糸といふ香を薰くべし〃などいふ詞が殘つてゐる維新前までその夜市井到るところ葉竹を立て之に星祭の詩歌を認めた色紙短册を飾りました町家にあつては硯面算盤筆硯その他紙類で作られた飾物をつけて樹て冷麥冷素麵などを食した、明治になり大正昭和時代が代るにつれて好事の者以外全く行事を顧るものがなくなつたが昭和二年から東京では日本風俗研究會が指導の下に七夕祭を年中行事の一つとして毎年行はれるやうになつたが滿洲ではあまり見られない

滿鐵綜合事務所

廿八日から店開き

各個所廿五日から移轉始む

—愈よ落成した—

新京驛前の偉觀、滿鐵綜合事務所は外部の工作殆んど終り目下內部の工作中であるが玆數日中に完成するのでいよく廿五日午後から在京各箇所の移轉引越を開始することゝなつた、引越は二十五日午後から開始二十七日の日曜日で終了し廿八日午前八時移轉式を擧行してから執務を開始する段取となる模樣であるがこれで今まで市內に散在してゐた滿鐵各事務所が一室に集るので一般にも非常な便利が齎される譯である、なほ今まで勸業係と土木係のゐた建物は鐵道關係で使用される筈である

安奉線警乘員増加

【奉天國通】高粱の生長と共に最近安奉線沿線に於ける匪賊の蠢動が目立つて來たが、奉天省は右に鑑み警備の萬全を期する爲今回各列車の警乘員を警部補或は巡査部長以下四名に增員し別に移動刑事を乘車せしめ箱乘り其他特殊犯罪檢擧に努力することゝなつた

故床次氏の東京墓地除幕式擧行

【東京國通】元遞信大臣床次竹二郎氏の東京の墓地が多摩墓地內に出來たので五日午後二時から新墓地に京子未亡人故人の長男正一、次男德二さん等の肉親の人々が集つて極く內輪の墓碑除幕式、遺骨埋葬式を行つた、墓碑は故人の一基を中に右に床次家組先の墓、左に故床次家の墓の三基からなり、本墓は鄉里の鹿兒島縣にあるので玆には分骨を埋めた

輸組新事務所けふ上棟式

かねて中央通り十九番地に新築中の輸入組合事務所は近く落成するが七日午後四時より武田地方事務所長、石崎商工會議所會頭、久末輸組理事參列のもとに上棟式が擧行される

同事務所は總經費十二萬圓にて昨年七月着工、建物は三階で地階は食堂及食料品販賣所、一階及二階の一部は組合加盟の商店からなる新京輸入百貨居にあて、二階を事務所、三階は日本內地商人のホテル、倉庫の一部を商品陳列所とすることになつてゐるが、之が出現の曉は商店の合理的經營の範を垂れるものとて各方面から注目されてゐる

架空の金塊を種に

理髮職人の詐僞

十餘名から三千圓近く捲上ぐ

犯人二名檢擧さる

セミヨノフ軍敗退の際ダライノール湖畔に埋藏された二千萬圓の金銀財寶を發掘すると稱して一口二百圓で會員を募集

既に十數名の會員を獲得してゐた理髮職人二名が新京、撫順兩署により檢擧され其後取調べ中であつたが、取調べ一段落と共に本日眞相左の如く發表され稀代の詐僞事件の全貌が曝露された、犯人は新京吉野町一ノ六元理髮職田邊長太(四〇)、撫順西公園十浦野方元理髮職副田香司(四三)の二名で田邊長太は大正七年から十一年にかけ軍の通譯としてネルチンスク方面に勤務したことのある次兄新京吉野町朝日軒田邊三平からセミヨノフ軍敗退の際ボイル湖附近に三プード(一プードは一六・三八キロ)の金塊が埋藏されたといふ某白系露人の話により現地調査に赴いたが結局有耶無耶で歸つた事があるとの話を聞込んだのを奇貨とし前記副田と共謀、田邊長太の長兄嘉吉(革命當時既に死亡)は革命當時セミヨノフの顧問で一九二〇年セミヨノフ軍敗退の際ダライノール湖畔に二千萬圓を埋藏した見取圖を預り十年後に發掘せよとの遺言でこれを長太に渡したと眞赤な虛僞の

芝居を組立て大膽にも出齣目の五萬分の一の見取圖を作り莫大な分前を約してまんまと奉天、撫順で既に十數名の會員を獲得、多額の會費を捲げてゐたものである、尙ほ關東局高等課では將來ともこの種の犯罪に對しては嚴重取締るが斯かる犯罪は射倖的な世相の反影として一般市民の自重を希望してゐる

◇……白雲の曠野に夏深む

日本の國寶級古美術

米國の秋を飾る

總數五十點來る十四日出發

【東京國通】アメリカの秋にわが國古美術の絢爛優雅をくりひろげ樣と愈々來る十四日橫濱出帆の葛城丸で太平洋を渡る我百萬圓の古美術品も玆數日中に最後の確定を見一足早く目錄がボストン市美術館宛打電される事となつた、此同美術館主催の日本古美術展覽會はハーバート大學創立三百年記念祭の前後二ケ月と云ふ長期間に亘り展覽されるが何れにせよ總數五十點に近い國寶級美術品の大掛りな海外出張は之が初めてなので輸送中の紛失破損を恐れて關係當事者は目下その輸送方法に頭痛鉢卷の態である、送られる古美術品は何れも時價三、四萬圓から十萬圓を上下すると云ふ絕品ばかりで美校から送られるものゝ內には明治廿二年以來五十年內外不出の雪村筆竹に二虎墨畫の掛物一幅あり、ヤンキーの眼を廻すには充分なもので、他の美術品と共に夫々時代と流派の代表作を選びに選んだものである

來京の鹿兒島劍道團

全新京軍と對戰

あす午後一時より商業學校で

西部日本に覇を稱へる鹿兒島劍道團對全新京の試合は八日午後一時から新京商業學校に於て開催されるがこれが準備並に新京選士の人選打合せ會議は六日午後三時から地事所長室にて開催新京武道會幹事高山八十八氏、新京商業佐藤中學校宮內、民政部增田、電々榊、鐵事佐々木の諸氏出席種々協議の結果出場選士は大將五段宮澤次郎、副將五段廣澤龍夫、五段蒲生正輝同萩原香一、四段綾戶政義同竹內正憲、同森一郎、同增田喜三郎、同佐綾美郎、同堀出太郎、同河本黃海男同井上輝勝、同小平三郎、三段中村明、同縣政次、同明石正、同前川芳亮、同井坂治鐵、同野津烈道、同渡井榮八、同菅野五郎、同榊泰三郎、同嶽崎操の諸氏に決定したなほ鹿兒島劍道團は七日午後三時四十五分着列車で來京、旭ホテルに投宿、八日午後一時から商業學校にて試合を開始するが試合の順序は

選士一同入場高山幹事開會の辭について一同君か代を奉唱、武田新京武道會長の挨拶、鹿兒島團代表の挨拶審判、高野範士の審判上の注意があつて、試合開始試合終了後別室で懇談會を催すことになつてゐる

武者修業に

各大學の强剛・柔道軍

ぞくく來京

法大、拓大との一戰が觀物

夏季休暇を利用して內地學生の滿洲各地武者修業の報は續々傳へられてゐるが今まで決定したものは法政大學柔道部二十二名が教授野口保次郎、師範七段會田彥一、主將四段有馬末藏、委員三段新井興美諸氏に引率されて十七日來京全新京軍と一戰を交へる豫定であるがメンバーは

四段大西澄男、三段三井一雄、同北川雅信、同橫山喚廣、二段新榮憲、同善積慶治、同久良知將雄、同伊藤誠、同森又吉、同本橋正男同堀元、同洪恩哲、同中井川三男、同武居仁郎、同竹內正彥、同中西光男、同中原正隆、同新井忠夫の諸氏である、更に八月一日には東都學生柔道界のピカ一拓大が大將木村五段以下超弩級をすぐつて來征も確定し久し振りに火の出るやうな猛試合が見られるものと期待されてゐる

奉天軍の意氣凄く

美事雪辱成る

一對零の大接戰で電々惜敗

雪辱の意氣に燃える遠來の奉天倶樂部、一擧にこれを擊碎せんと期する電々チーム、都市對抗野球、滿洲代表決定試合第二日は六日午後四時西公園球場に於て奉倶先攻、山口(球)水原、小淵、梅本(壘)四氏審判の下に開始された、戰前既に鬼氣をはらんだ場內は折柄暗雲閉ざして、そぼ降る小雨は一抹の凄氣さへ漂はせてゐたが試合は投手戰に終始し、奉倶小島投手コントロールよく、四回表に獲得した貴重な一點を物にし、遂に一對零のまゝ押切り奉倶の雪辱成る閉戰午後五時五十五分

奉(先)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

試合經過

▲一回(奉)香川中飛、針原遊飛、西尾三振、(電)稻田三壘手左を拔く安打に出で吉木中前安打に續いたが鈴木、行吉、桑原共に三振(兩軍—〇)

▲二回(奉)今市三振、小島投飛後鈴木二壘左を拔く安打に出で續く佐藤の三壘ベース寄り二壘打に鈴木三進したが岡本三振、(電)岩崎遊飛、大月左中間二壘打したが荒木左飛、近藤遊飛(兩軍—〇)

▲三回(奉)山崎二飛、香川投飛、針原四球に出たが西尾右飛、(電)稻田遊飛、吉木遊飛一失に生き、二間安打に吉木二進、行吉の一、したが桑原投三振

▲四回(奉)今市四球を得たが續く小島の遊飛に封殺、小島二盜、鈴木四球、佐藤二飛に鈴木封殺されたが小島三進、佐藤二盜、岡本の三壘背後テキサスに小島生還し佐藤三壘に進み山崎投飛となつたが一點先取(奉一—電〇)

▲五回(奉)香川三壘寄り單打に出で二盜、針原投飛、荒木投飛(奉一—電〇)岩崎三飛、大月投飛

▲六回(奉)小島二飛、鈴木四球、佐藤二盜、佐藤三飛に鈴木封殺佐藤一擧本壘を衝いて刺さる、(電)鈴木一邪飛、行吉三振、桑原遊飛(兩軍—〇)

▲七回(奉)山崎遊飛、香川三振後針原二飛失に生きたが二盜に刺さる、(電)P・H田村(岩崎の代打)一邪飛、大月二飛、荒木中飛(兩軍—〇)

▲八回(奉)西尾投飛、今市三飛低投に生き、小島の遊飛に封殺、鈴木二飛失に小島一擧三進、鈴木二盜、佐藤遊飛(電)近藤四球に出で稻田三飛に近藤二壘をオーバランして一壘よりの送球に刺さる、吉木中飛(兩軍—〇)

▲九回(奉)岡本左飛、山崎四球を得たが香川の二飛に封殺、針原二飛(電)鈴木三飛低投に生き行吉投前バントに鈴木二壘封殺、P・H永野(桑原の代打)左飛P・H石川(行吉の代走)二進田村三飛失に行吉二進P・Hを擱んだが大月二飛に空し好機

(電々)

		打	得	安	犧	盜	三	四	失
8	稻田	3	0	1	1	0	0	0	0
7	吉木	4	0	1	0	0	1	0	0
1	鈴木	4	0	0	0	0	2	0	0
3	行吉	4	0	1	0	0	2	0	0
9	桑原	4	0	0	0	0	1	0	0
5	岩崎	2	0	0	0	0	0	0	0
5	、田村)	2	0	0	0	0	0	0	1
4	大月	4	0	1	0	0	0	0	2
2	荒木	3	0	0	0	0	0	0	0
6	近藤	2	0	0	0	0	6	1	0
		32	0	4	1	0	6	1	3

▲二壘打大月、佐藤

奉倶(先)

		打	點	安	犧	盜	振	死	失
9	香川	5	0	1	0	0	1	0	0
7	針原	4	0	0	0	0	0	1	0
8	西尾	4	0	0	0	0	1	0	0
2	今市	3	0	0	0	0	2	1	0
1	小島	4	1	0	0	1	0	0	0
3	鈴木	2	0	1	0	1	0	2	1
5	佐藤	4	0	1	0	2	0	0	2
4	岡本	4	0	2	0	1	1	0	0
6	山崎	3	0	0	0	0	0	1	0
		33	1	5	0	5	5	3	3

新京軍優勢

對吉林庭球戰ドロンゲーム

本年度より年中行事の一として擧行される新京實業庭球倶樂部對全吉林との第一回試合は五日午前十時より吉林鐵路局コートにて開催されたが觀客席には徐吉林市長、鐵路局長を始め一般ファン三百有餘名の期待裡に市長開會の辭によつて火蓋は切つて落されたが第二回戰以後の戰跡は次の通りである

◎實倶　第二回戰　◎全吉林

加藤	四—〇	佐藤	(內田
井崎)			
菅橋	四—三	米倉	但野
高橋)			
岸川	四—三	前田	井上
松本)			
長與	中止	久藤	矢野
梅原)			
小野	中止	田中	
梅澤)			植月

以上の如くで結果降雨のため試合中止となりドロンゲームになつたが勿論新京實業軍の優勝に歸するとは言へスコアーの上から見て全吉林軍の强味も遺憾なく發揮せられた、閉戰正に五時

棒高跳び世界新記錄樹立

【ブリストン四日發國通】サンフランシスコのジョージ・バローフ選手は四日棒高跳びに四米四十三を跳び世界新記錄を出した

早大陸上部迎え

全新京軍闘ふ

來る十九日豫選會開催

强豪早稻田大學陸上軍の來滿を機とし新京大滿洲帝國體育聯盟、新京體育聯盟では二十六日同軍を迎へ西公園內滿鐵運動場に於て全新京軍と競技大會を催すことに決定五日これが準備打ち合せ會を開き協議の結果出場選手は十九日午後一時から西公園で豫選會を開いて決定することゝし競技種目は左の如く決定した

▲百米▲四百米▲千米▲五百米▲五千米▲百十米、四百米ハードル▲千六百米リレー▲走巾跳▲走高跳▲棒高跳▲三段飛▲圓盤投▲砲丸投▲槍投

を施行するが受驗希望者は受驗希望地、段級、職業、氏名年齡を記入して十日までに地方事務所社會係まで申込まれたいと

弓道試驗受驗者に

七月下旬奉天及大連に於て弓道階級試驗(初段より四段まで)……

大經路小學校講堂上棟式

特別市立大經路兩級小學校では目下建築中の講堂の上棟式を七日午後一時から擧行する工事は錢高組の請負で去る五月一日着手したが建物の總面積六百三十九平方米で工事費約三萬二千圓、收容人員千二百名だが今秋九月には竣工の豫定である

喜多武官歸任

【北平六日發國通】五日來平した大使館附武官喜多少將は六日午前九時半發列車で歸任の途に就いたが、驛頭左の如く語る

私は田代軍司令官への挨拶を兼ねて各地との連絡の爲に來たもので特別の目的はない北支の情況に關して南京方面にデマが飛んで居る樣だが、現地に來て見て實察政權が漸次軌道に乘りつゝあるのを知る事が出來た宋哲元氏とは五日會見したが取り立てて云ふ程の話もなかつた

沼田監視部長南下

濱京中の門司稅關監視部長沼田龍太郎氏は六日午後二時のあじあで南下した

山本情報處計劃科長着任挨拶

國務院總務廳情報處計劃科長山本紀綱氏は六日岡田事務官の案內で着任挨拶に來社した

日ノ丸タクシー

興安路中央飯店一階の中村嚴作氏は日ノ丸タクシー開業準備中の所漸し諸設備整ひシボレー高級新車十數台を使用して七月七日より盛大に開業した因に同タクシーの電話(2)二一一二六六番

國都建設局も

夏の半休全廢

三時まで執務

滿洲國各官廳では七月一日から恒例により夏の半休を實施してゐるが、國都建設局では今年も前年同樣に夏の半休を廢して從前通り終日事務を執ることゝなつたが、執務時間は午後三時までこの間一般の願出も受付けることになつてゐる、一般出入の民衆に取つては大きな便宜でもあらう

正金銀行辭令

【橫濱國通】正金銀行では左の人事異動を發表した

ベルリン出張所副主任　下村貞二

ハンブルグ支店詰　伊村平次郎

ベルリン出張所出仕を命ず　中村豐秋

バンコック出張所出仕を命ず

頭取席詰

歸朝を命ず

除權判決

四平街四區北一條通八番地　申立人　蓼沼泰一

目錄

一、證劵ノ種類　倉荷證劵

一、證劵番號　第四八號

一、證劵作成地名　滿洲國奉天省梨樹縣四平街

一、證劵發行者　國際運輸株式會社

一、證劵發行日附　昭和十年六月二十六日

一、證劵所持人　四平街北一條通八番地蓼沼泰一

一、受寄物種類　糧粟

一、數量　三百三十三袋

一、荷造　麻袋入

一、保管場所　四平街國際運輸物件置場

一、保管期間　自昭和十年六月二十六日至同年七月二十五日

一、保險金額　金三千五百圓

一、保險會社名　日本保險株式會社

右申立人ノ申立ニ依リ目錄記載ノ證書ニ付公示催告ヲ爲シタル處昭和十一年六月三十日午前九時ノ公示催告期日迄ニ權利ヲ屆出テ且其證書ヲ提出スルモノナカリシヲ以テ當館ハ申立人ノ申立ニ依リ該證書ノ無效ヲ宣言ス

昭和十一年六月三十日

在新京日本帝國總領事館

領事　中嶋忠三郎

探偵小説 **殺人技師**（上映・上演）　森下雨村　茅場脩水畫

一三五

執念（二）

老検事は、言葉を續けていつた

「可哀さうに、被告は當時二十七歳の青年だつたが、たつた一度の過失のために、彼は、生涯前科者の汚名を着なければならなくなつたのだ。そこへもつて來て、彼が獄中にゐる間に、伯父の串田銀藏は事業の蹉跌から破産してしまつて、出獄した彼は何處にも身を寄せる先もなく、世を呪ひ、人を呪つた揚句が、その呪ひを俺一人にもつて來たのだ。その當時、俺はその男から度々呪ひの手紙を貰つたものだが、それが今頃になつて實行されやうとは、さすがに俺も、夢にも思はなかつたよ。」

老検事は深い溜息を吐いた。

自動車は夜の暗を衝いて、一散に走つてゐる。鋭石はさつきから焦々しながら、自動車の外を覗きつづけてゐる。

絹代が鞠子のために誘拐されてゐる。しかも、その監禁されてゐる場所を知つてゐるのは、このヘンリー松崎よりほかにないのだ。それを考へると、父の首級なんか耳に入らう筈はなかつたのだ。

「成程」

黒澤刑事は人間の執念の恐ろしさに、思はず身顫ひしながら、

「それにしても、その男が、あなたの前の奥さんと結婚してゐたといふのは、随分奇妙な話ですな。偶然にしては、少し話がうまく出來過ぎてゐるぢやありませんか。」

「むろん、偶然ぢやありませんよ。」

傍からヘンリー松崎が口を出した。彼は手錠をはめられてゐるので、窮屈さうに絶えず自動車の中で身動きしながら、

「かうなつたら、何もかも私の知つてゐるだけのことは話してしまひませう。今お話の串田廣一といふ男は、一度、清水検事に復讐を誓ふと、あらゆる方面から検事のことを調べにかゝつたのです。そして鷺崎藤々子といふ女が、検事にすてられ、赤ん坊を抱いて路頭に迷うてゐることを知ると、早速、その女を探し出して、結婚したのです。これは、自分の呪ひと憎しみを永遠に忘れないために、そして、それを二重にも三重にもするために、わざわざ検事を恨んでゐる女を見つけだして結婚したのです。一人々々の憎しみは、さら大したことでなくても、それが二つ寄ると火を發するやうに強く激しくなるのが常です。つまり串田廣一といふ男は、それをよく知つてゐたのです。お互の感情を磨滅させないために、いや、それを益々強く鋭くしようといふのが、この結婚の目的だつたのですね。さうした相手からの呪はれた結婚によつて生れたのが、あの鞠子だつたのです。」

「ふうむ。」

清水検事も黒澤刑事も、さすがに深い溜息を吐かないではゐられなかつた。そこには人生の裏通りへ追やられた人々の、暗い、根強い、ぞつとするやうな呪ひの執念があるのだ。自分達の身を犠牲にしてまで遂げようとする恐ろしい深い企らみを思ふと、二人とも魂の底まで冷たくなるやうな感じがするのだつた。

「鞠子が生れると間もなく、廣一夫婦はアメリカへ渡りました。むろん藤々子の生んだ最初の子供つまり清水検事の子供は里子にやつたまゝで、二人は鞠子をつれて日本を後にしたのです。それから二三年も經つて生れたのが、あの殺された御厨子といふ娘でした。串田廣一は、この二人の娘にあらゆる機會に、あらゆる手段を用ひて、自分たちの呪ひを植ゑつけていつたのです」